

613  
67



0042571-000

特225-954

改正教育法規集

鹿児島県教育会・編集

鹿児島県教育会

昭和2

AHD



313  
67

教員  
必携

改正教育法規集

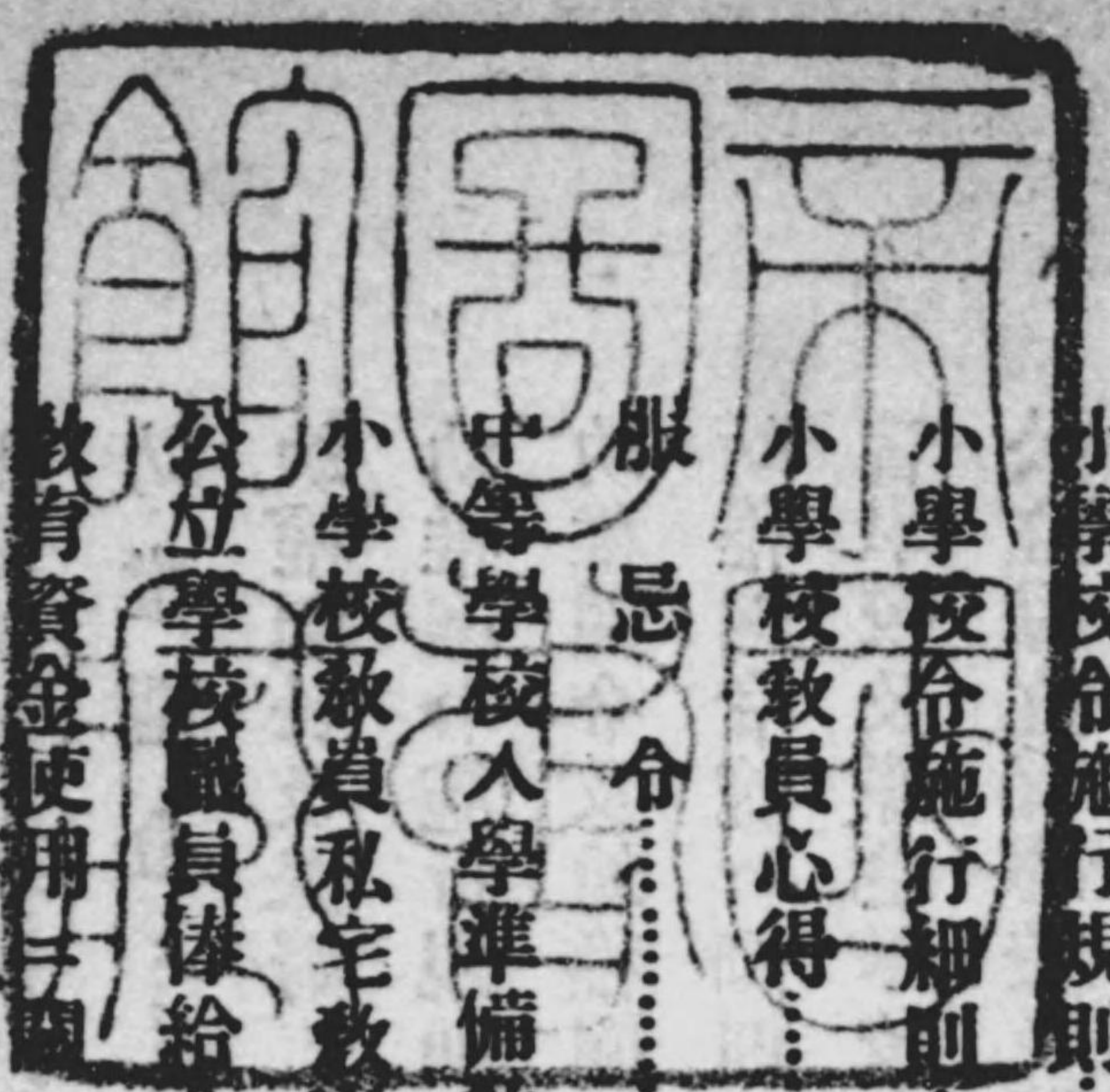
鹿兒島縣教育會編纂



物 225  
954



教員必携教育法規集目次



小學校令.....一

小學校令施行規則.....二

小學校令施行細則.....八五

小學校教員心得.....一五二

服忌令.....一五七

中等學校入學準備教育取締方.....一六七

小學校教員私宅教育取締方ノ件.....一六九

公立學校職員俸給令.....一七一

教育資金使辨ニ關スル規程.....一八一

市町村立小學校教員住宅費補助規程.....一九三

圖書館費補助規程.....一九七

實業補習教育費補助規程.....一九九

市町村立小學校教員加俸令.....二〇一





市町村立小學校教員加俸給與細則.....	二〇五
公立學校職員年功加俸令.....	二一一
公立學校職員年功加俸支給規程.....	二二五
公立學校職員年功加俸給與手續.....	二三五
鹿兒島縣旅費規則.....	二三二
幼稚園令.....	二五二
幼稚園長及保姆.....	二五五
幼稚園令施行規則.....	二五七
幼稚園令及幼稚園令規則制定ノ要旨並施行上ノ注意事項.....	二六六
幼稚園令施行細則.....	二六九
盲學校及聾啞學校令.....	二七七
公立私立盲學校及聾啞學校規程.....	二八一
圖書館ニ關スル訓令.....	二八九
圖書館施設要項.....	二九一
實業補習學校規程.....	三〇一

實業補習學校設置廢止等ニ關スル規程.....	三〇九
鹿兒島縣實業補習教育實施要項.....	三一三
青年訓練ニ關スル諸規程.....	三三七
學校醫ノ資格及職務ニ關スル規程.....	四一一
學校ニ於ケル「トラホーム」豫防規程.....	四三三



# ●小學校令

明治三十三年八月二十日  
勅令第三百四十四號

沿革 明治三十六年三月勅令第六三號、四月第七四號、四〇年三月第五二號、四四年七月第二一六號、大正二年七月第二五八號、八年二月第一〇號、一二年八月第三七六號、一五年四月第七三號、六月第二四二號改正  
朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ小學校令ノ改正ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
小學校令

## 第一章 總 則

第一條 小學校ハ兒童身體ノ發達ニ留意シテ道德教育及國民教育ノ基礎並其ノ生活ニ必須ナル普通ノ知識技能ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 小學校ハ之ヲ分テ尋常小學校及高等小學校トス

尋常小學校ノ教科ト高等小學校ノ教科トヲ一校ニ併置スルモノヲ尋常高等小學校トス  
市町村、町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔ヲ以テ設置スルモノヲ市町村立小學校トシ私人ノ費用ヲ以テ設置スルモノヲ私立小學校トス

第三條 尋常高等小學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ尋常小學校ノ規定ヲ準用シ高等小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分ニ對シテハ高等小學校ノ規定ヲ準用ス但



シ文部大臣ニ於テ別段ノ規定ヲ設ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス  
 第四條 町村組合ニシテ其ノ町村切一ノ事務ヲ共同處分スルモノハ之ヲ一町村ト同視ス  
 第五條 小學校ニ類スル各種學校ノ規程ニ關シテハ本令中別段ノ規定アルモノヲ除クノ外  
 文部大臣之ヲ定ム

## 第二章 設 置

第六條 市町村ハ其ノ區域内ノ學齡兒童ヲ就學セシムルニ足ルヘキ尋常小學校ヲ設置スヘシ

第七條 府縣知事ハ一町村ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘスト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムヘシ

第八條 府縣知事ハ一町村ニ於テ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程内ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ左ノ例ニ依ルヘシ

- 一、其ノ町村ヲシテ尋常小學校設置ノ爲他ノ町村ト學校組合ヲ設ケシムルコト
- 二、其ノ町村ヲシテ就學セシムヘキ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他町村、町村學

校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコト

府縣知事ハ町村ノ一部ニシテ前項ノ事情アルモノ其ノ町村ノ尋常小學校ニ對シ適度ノ通學路程内ニ在ラスト認メタルトキハ亦前項ノ例ニ依ルヘシ

府縣知事ハ町村學校組合ノ一部ニシテ前項ニ準スヘキ事情アリト認メタルトキハ第一項第二號ノ例ニ準スヘシ

第八條ノ二 府縣知事ハ町村學校組合又ハ其ノ一部ニシテ前條各項ノ一ニ該當スル事情アル場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ市又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

府縣知事ハ市ノ一部ニシテ就學セシムヘキ兒童ノ數一尋常小學校ヲ構成スルニ足ラスト認メタルトキ又ハ適度ノ通學路程内ニ於テ一尋常小學校ヲ構成スルニ足ルヘキ數ヲ得ルコト能ハスト認メタルトキハ其ノ兒童ノ全部若ハ一部ノ教育事務ヲ他ノ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ委託セシムルコトヲ得

第九條 市町村立尋常小學校ノ校數並位置ハ府縣知事ニ於テ市町村又ハ町村學校組合ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第十條 第七條又ハ第八條ニ依リ府縣知事ニ於テ町村學校組合ヲ設ケシメムトスルトキハ



組合規約ヲ定メ關係町村ノ意見ヲ聞クヘシ組合規約ヲ變更シ組合町村ノ數ヲ増減シ又ハ組合ヲ解カシメムトスルトキ亦同シ第八條又ハ第八條ノ二ニ依リ府縣知事ニ於テ兒童教育事務ヲ委託セシメ又ハ其ノ委託ヲ止メシメムトスルトキハ關係市町村、町村學校組合及學區ノ意見ヲ聞クヘシ

第十一條 府縣知事ハ市町村若ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ、兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所數箇所アルトキ又ハ其ノ設置スヘキ尋常小學校ト兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所數箇所アルトキ又ハ其ノ設置スヘキ尋常小學校ト兒童教育事務ニ對シ小學校設置ニ關スル費用ノ負擔又ハ兒童教育事務委託ノ爲其ノ使用スヘキ小學校ヲ指定スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ關係市町村、町村學校組 及學區ノ意見ヲ聞クヘシ其ノ之ヲ止メムトスルトキ亦同シ

第十二條 府縣知事ハ第七條及第八條第一項ノ事情アルモ同條及第五十三條ニ依ルコトヲ得スト認メタルトキハ其ノ町村ヲシテ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

府縣知事ハ第八條第二項又ハ第三項ノ事情アルモ同項及第五十三條ニ依ルコトヲ得スト

認メタルトキハ其ノ町村若ハ町村學校組合ヲシテ其ノ一部ニ關シテハ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免レシムルコトヲ得

### 第十三條 (削除)

第十四條 市町村ハ市町村又ハ其ノ學區ノ負擔ヲ以テ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

市町村又ハ町村ハ其ノ協議ニ依リ市町村學校組合又ハ町村學校組合ヲ設ケ高等小學校ヲ設置スルコトヲ得

第十五條 市町村立高等小學校ノ設置及廢止ハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 私立小學校ノ設置及廢止ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條 前三條ノ規定ハ小學校ニ類スル各種學校ニ關シ之ヲ準用ス小學校ニ類スル各種學校ハ之ヲ小學校ニ附設スルコトヲ得

## 第三章 教科及編制

第十八條 尋常小學校ノ修業年限ハ六箇年トス

高等小學校ノ修業年限ハ二箇年トス但シ延長シテ三箇年ト爲スコトヲ得

第十九條 尋常小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、歴史、地理、理科、圖畫、唱歌、體



操トシ女兒ノ爲ニハ裁縫ヲ加フ

土地ノ情況ニ依リ手工ヲ加フルコトヲ得

第二十條 高等小學校ノ教科目ハ修身、國語、算術、歴史、地理、理科、圖畫、手工、唱歌、體操、實業(農業、工業、商業ノ一科目又ハ數科目)トシ女兒ノ爲ニハ家事、裁縫ヲ加フ

土地ノ情況ニ依リ前項教科目ノ外外國語其ノ他必要ナル教科目ヲ加フルコトヲ得

前項ノ教科目ハ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得第三學年ニ於ケル圖畫、唱歌ニ付亦同シ手工ハ實業ニ於テ工業ヲ學習スル兒童ニハ之ヲ課セサルコトヲ得

實業ノ數科目ヲ置キタル場合ニハ兒童ヲシテ其ノ一科目ヲ選擇セシム實業ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

第二十一條 小學校ニ補習科ヲ置クコトヲ得

補習科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第二十二條 小學校ノ教科目中兒童身體ノ情況ニ依リ學習スルコト能ハサル教科目ハ之ヲ其ノ兒童ニ課セサルコトヲ得

第二十三條 小學校ノ教科目ヲ加除セムトスルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、

私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

補習科ヲ設置シ若ハ之ヲ廢止シ又ハ高等小學校ノ修業年限ヲ延長セムトスルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十四條 小學校ノ教科用圖書ハ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノタルヘシ

前項ノ圖書同一ノ教科目ニ關シ數種アルトキハ其ノ中ニ就キ府縣知事之ヲ採定ス

文部大臣ハ第一項ノ規定ニ拘ラス修身、歴史、地理ノ教科用圖書及國語讀本ヲ除キ其ノ他ノ教科用圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定シタルモノニ就キ府縣知事ヲシテ之ヲ採定セシムルコトヲ得

補習科ノ教科用圖書ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

第二十五條 第二十六條 (削除)

第二十七條 小學校ノ休業日ハ日曜日ヲ除クノ外毎年九十日ヲ超ユルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス

特別ノ事情アルトキハ府縣知事ニ於テ前項ノ日數ヲ増加スルコトヲ得

傳染病豫防ノ爲必要アルトキ其ノ他非常變災アルトキハ府縣知事ニ於テ臨時小學校ノ閉



鎮ヲ命スヘシ其ノ急迫ノ事情アル場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ管理者、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ之ヲ閉鎖スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ府縣知事ニ報告スヘシ

第二十八條 小學校教則及小學校編制ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

#### 第四章 設 備

第二十九條 小學校ニ於テハ校舍、校地、校具及體操場ヲ備フヘシ

第三十條 校舍、校地、校具及體操場ハ非常變災ノ場合ヲ除クノ外小學校ノ目的以外ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ教育兵事産業衛生慈善等ノ目的ノ爲特別ノ必要アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十一條 小學校ノ設備ニ關スル規程ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事ヲ定ム

#### 第五章 就 學

第三十二條 兒童滿六歲ニ達シタル翌日ヨリ滿十四歲ニ至ル八箇年ヲ以テ學齡トス

學齡兒童ノ學齡ニ達シタル日以後ニ於ケル最初ノ學年ノ始ヲ以テ就學ノ始期トシ尋常小學校ノ教科ヲ修了シタルトキヲ以テ就學ノ終期トス

學齡兒童保護者ハ就學ノ始期ヨリ其ノ終期ニ至ル迄學齡兒童ヲ就學セシムルノ義務ヲ負フ

學齡兒童保護者ト稱スルハ學齡兒童ニ對シ親權ヲ行フ者又ハ親權ヲ行フ者ナキトキハ其ノ後見人ヲ謂フ

第三十三條 學齡兒童瘋癲白痴又ハ不具廢疾ノ爲就學スルコト能ハスト認メタルトキハ市町村長ハ府縣知事ノ認可ヲ受ケ學齡兒童保護者ノ義務ヲ免除スルコトヲ得

學齡兒童病弱又ハ發育不完全ノ爲就學セシムヘキ時期ニ於テ就學スルコト能ハスト認メタルトキハ市町村長ハ其ノ就學ヲ猶豫スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直ニ府縣知事ニ報告スヘシ

市町村長ニ於テ學齡兒童保護者貧窮ノ爲其ノ兒童ヲ就學セシムルコト能ハスト認メタルトキ亦前二項ニ準ス

第三十四條 第十二條ニ依リ尋常小學校ノ設置又ハ兒童教育事務ノ委託ニ關スル義務ヲ免セラレタル區域内ノ學齡兒童保護者ハ其ノ義務ヲ免除セラレタルモノトス



第三十五條 尋常小學校ノ教科ヲ修了セサル學齡兒童ヲ雇傭スル者ハ其ノ雇傭ニ依リテ兒童ノ就學ヲ妨クルコトヲ得ス

第三十六條 學齡兒童保護者ハ就學セシムヘキ兒童ヲ市町村立尋常小學校ニ入學セシムヘシ但シ市町村長ノ認可ヲ受ケ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メシムルコトヲ得

官立若ハ府縣立ノ學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ授クヘキ部分、高等小學校若ハ中學校ノ豫科又ハ盲學校若ハ聾啞學校ノ初等部ハ兒童就學ニ關シテハ之ヲ市町村立尋常小學校ト同視ス

第三十七條 兒童ノ年齢就學ノ始期ニ達セサル者ハ之ヲ小學校ニ入學セシムルコトヲ得ス  
第三十八條 小學校長ハ傳染病ニ罹リ若ハ其ノ虞アル兒童又ハ性行不良ニシテ他ノ兒童ノ教育ニ妨アリト認メタル兒童ノ小學校ニ出席スルヲ停止スルコトヲ得

## 第六章 職員

第三十九條 小學校ノ教科ヲ教授スル者ヲ本科正教員トシ其ノ教科目中修身、國語、算術、歴史、地理、理科以外ノ教科目ニシテ文部大臣ノ定ムル一科目又ハ數科目ヲ限リ教授

スル者ヲ專科正教員トス

本科正教員ヲ補助スル者ヲ准教員トス

第四十條 小學校教員タルヘキ者ハ免許狀ヲ受クヘシ

免許狀ハ府縣知事之ヲ授與シ全國ニ通シテ有效トス

第四十一條 免許狀ヲ受クルニハ師範學校若ハ文部大臣ノ指定シタル學校ヲ卒業シ若ハ小學校教員ノ檢定ニ合格スルコトヲ要ス

前項ノ檢定ヲ施行スルカ爲府縣ニ小學校教員檢定委員會ヲ置ク

免許狀及小學校教員檢定委員會ノ組織權限其ノ他檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十二條 特別ノ事情アルトキハ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ小學校准教員ニ代用スルコトヲ得

代用教員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十三條 市町村立小學校長ハ其ノ學校ノ本科正教員ヲシテ之ヲ兼ホシムヘシ

第四十四條 市立小學校長及教員ノ任用ハ市長又ハ市町村學校組合管理者ノ申請ニ依リ府縣知事之ヲ行フ

町村立小學校長及教員ノ任用並市町村立小學校長及教員ノ解職ハ府縣知事之ヲ行フ



第四十五條 市町村立小學校教員ノ俸給旅費其ノ他諸給與並其ノ支給方法ハ文部大臣ニ於テ定ムル準則ニ基キ府縣知事之ヲ定ム

第四十六條 小學校長及教員ノ進退職務及服務ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第四十七條 小學校長及教員ハ教育上必要ト認メタルトキハ兒童ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得但シ體罰ヲ加フルコトヲ得ス

第四十八條 市町村立小學校長及教員職務上ノ義務ニ違背シ若ハ職務ヲ怠リタルトキ又ハ職務ノ内外ヲ問ハス體面ヲ汚辱スルノ所爲アリタルトキハ府縣知事ニ於テ懲戒處分ヲ行フ其ノ處分ハ譴責、減俸及免職トス

私立小學校長及教員ニシテ前項ニ準スヘキ所爲アリタルトキハ府縣知事ハ其ノ業務ヲ停止ス

第四十九條 小學校教員免許狀ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ效力ヲ失フ

一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二、破産ノ宣告ヲ受テタルトキ

小學校教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリ

ヲ其ノ情狀重シト認メタルトキハ文部大臣又ハ府縣知事ニ於テ其ノ免許狀ヲ褫奪ス

第五十條 府縣知事ニ於テ行ヒタル免職若ハ業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處分ニ不服アル者ハ文部大臣ニ訴願スルコトヲ得

### 第七章 費用負擔及授業料

第五十一條 市町村立小學校ノ設置ニ關スル費用ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外市町村、町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ負擔トス其ノ概目左ノ如シ

一、設備及其ノ維持ノ費用

二、職員ノ俸給、旅費、其ノ他諸給與

三、校費

兒童教育事務委託ニ關スル費用ハ市町村、町村學校組合又ハ其ノ學區ノ負擔トス

第五十二條 府縣知事ハ町村學校組合ニ於テ設置スヘキ尋常小學校數校アルトキ又ハ兒童教育事務ノ委託ヲ要スル場所アルトキハ其ノ學校組合内ノ某町村ヲシテ其ノ數校中ノ一校若ハ數校ノ設置又ハ兒童教育事務委託ニ關スル費用ヲ一町村限り負擔セシムルコトヲ得



前項ノ處分ヲ爲シ又ハ之ヲ止メムトスルトキハ關係町村及町村學校組合ノ意見ヲ聞クヘシ

一四

第五十三條 府縣知事ニ於テ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノアリト認メタルトキハ府縣ハ町村又ハ町村學校組合ニ相當ノ補助ヲ與フヘシ

- 一、町村ニシテ第七條ノ事情アルモ同條ニ依ルコトヲ得サルトキ
- 二、町村學校組合ノ資力尋常小學校設置ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ又ハ町村學校組合ノ一部タル町村ノ資力其ノ學校組合費ノ分擔ニ堪ヘサルトキ
- 三、町村又ハ町村學校組合ノ資力兒童教育事務委託ニ關スル費用ノ負擔ニ堪ヘサルトキ

前項ノ認定ニ付テハ府縣知事ハ府縣參事會ノ意見ヲ聞クヘシ

第五十四條 (削除)

第五十五條 區長及其ノ代理者並學務委員ニ於テ國ノ教育事務ヲ執行スルカ爲ニ要スル費用ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ノ負擔トス但シ區長及其ノ代理者並學區ノ學務委員ニ關スル費用ハ市町村會又ハ町村學校組合會ノ議決ヲ以テ之ヲ學區ノ負擔ト爲スコトヲ得

第五十六條 小學校教員檢定及免許狀ニ關スル費用ハ府縣ノ負擔トス

第五十七條 市町村立尋常小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルコトヲ得ス但シ補習科ハ此ノ限ニ在ラス

特別ノ事情アルノトキハ府縣知事ノ認可ヲ受ケ市町村立尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルコトヲ得

第五十八條 市町村立小學校ノ授業料ハ市町村町村學校組合若ハ其ノ學區又ハ市町村學校組合ノ收入トス

第五十九條 授業料ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

## 第八章 管理及監督

第六十條 市町村長、市町村學校組合管理者又ハ町村學校組合管理者ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ屬スル國ノ教育事務ヲ管掌シ市町村立小學校ヲ管理ス

第六十一條 府縣知事ハ市町村又ハ町村學校組合ノ區長及其ノ代理者ヲシテ市町村長又ハ町村學校組合管理者ノ指揮命令ヲ受ケテ學區ニ屬スル國ノ教育事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

一五



第六十二條 市町村ハ教育事務ノ爲市制第八十三條町村制第六十九條ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ但シ市會町村會ノ議決ニ依ルノ限ニ在ラス

市町村學校組合又ハ町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ學務委員ヲ置クヘシ市町村又ハ町村學校組合ハ教育事務ノ爲條例ノ規定ニ依リ其ノ學區ニ學務委員ヲ置クコトヲ得

學務委員ニハ市町村立小學校男教員ヲ加フヘシ

委員中教員ヨリ出ツル者ハ市町村長、市町村學校組合管理者又ハ町村學校組合管理者之ヲ任免ス

第六十三條 學務委員ノ職務其ノ他學務委員ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六十四條 (削除)

第六十五條 市町村立小學校長及教員ノ執行スル國ノ教育事務ハ府縣知事之ヲ監督ス

第六十六條 私立小學校ハ府縣知事之ヲ監督ス

### 第九章 附 則

第六十七條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ小學校ノ教科目並教則及授

業料ノ徵收ニ關シテハ明治三十四年三月三十一日ニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ル

第六十八條 本令ハ市制町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

第六十九條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三十三條ニ依リ設ケタル町村學校組合ハ明治三十八年三月三十一日ニ至ル迄之ヲ存續スルコトヲ得

第七十條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條及第四條ニ依リ小學校ニ於テ加設シタル教科目中本令ノ規定ニ抵觸スルモノ又ハ同令第六條ニ依リ高等小學校ニ於テ專修科ヲ置キタルモノハ明治三十三年九月一日ニ於テ現ニ學習スル兒童ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

明治二十三年勅令第二百十五號小學校令第三條ニ依リ體操科ヲ闕ケル尋常學小校ニ於テハ明治三十六年三月三十一日迄仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第七十一條 既設ノ尋常小學校ニシテ體操場ノ設備ナキモノハ明治三十八年三月三十一日迄其ノ設備ヲ猶豫ス

前項ノ場合ニ於テハ其ノ猶豫ノ期間内體操科ヲ闕クコトヲ得

七十二條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀ハ本令施行後仍其ノ效力ヲ有ス但シ小學校專科准教員ノ免許狀ハ此ノ限ニ在ラス



第七十三條 明治二十六年勅令第四百號及明治三十年勅令第三百十六號ハ之ヲ廢止ス  
明治二十六年勅令第三十四號及明治三十年勅令第四百七號ハ明治三十四年四月一日ヨリ  
之ヲ廢止ス

附 則 (明治三十六年勅令第七十四號)

本令ハ明治三十七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第二十四條第二項及第三項ハ此ノ限ニ在  
ラス

明治三十七年四月一日前第二十四條第二項又ハ同條第三項ニ依リ採定ヲ爲ス場合ニ於テハ  
審査委員會ノ審査ヲ經ルヲ要セス

本令施行前ニ於ケル審査採定及本令施行前ニ採定シタル教科用圖書ニ關シテハ從前ノ罰則  
其ノ他ノ規程ヲ適用ス但シ使用ヲ始メタル後四箇年ヲ經タル圖書ハ採定ノ效力ヲ失フ

附 則 (明治四十年勅令第五十二號)

沿革 明治四十四年七月勅令第二一六號 大正八年二月第一〇號 一五年四月第七三號改正

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第十三條及第三十六條第一項ノ改正ハ明  
治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

市町村立尋常小學校ニ代用シタル私立小學校ニ關シテハ其ノ代用期間ノ滿了スルニ至ル迄

仍其ノ代用ヲ存續スルコトヲ得

特別ノ事情ニ依リ第十八條第一項ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村立小學校ニ在リテハ市町  
村又ハ町村學校組合ニ於テ、私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ期間ヲ定メテ府縣知事ノ  
認可ヲ受ケ當分ノ内尋常小學校ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ  
高等小學校ニ關シテモ仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

前項ニ依ル尋常小學校ノ教科目ニ關シテハ文部大臣ノ定ムル所ニ依ル

本令施行ノ際現ニ在學スル高等小學校ノ兒童ニ關シテハ其ノ卒業スルニ至ル迄仍從前ノ規  
定ニ依ルコトヲ得

附 則 (大正二年勅令第二百五十八號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前府縣知事ニ於テ授與シタル免許狀ハ本令ノ免許狀ト同一ノ效力ヲ有ス明治二十  
五年勅令第四十號ニ依リ北海道廳長官ニ於テ授與シタル免許狀ニ付亦同シ

附 則 (大正十二勅令第三百七十六號)

本令ハ大正十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ存シ小學校令ニ依リ設置セラレタル私立ノ盲啞學校ニシテ盲學校及聾啞



學校令ニ依ラサルモノハ私立學校令ニ依リ設立セラレタルモノト看做ス

附 則 (大正十五年勅令第七十三號)

明治四十年勅令第五十二號附則第五項ヲ削ル

本令施行ノ際現ニ在學スル高等小學校ノ兒童ニ課スヘキ教科目ニ付テハ其ノ卒業ニ至ル迄仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

附 則 (大正十五年勅令第二百四十二號)

本令ハ大正十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

從前ノ規定ニ依リ郡長ノ爲シタル處分其ノ他ノ行爲ハ本令中之ニ相當スル規定アル場合ニ於テハ本令ニ依リ府縣知事ノ爲シタル處分其ノ他ノ行爲ト看做ス

### ●小學校令施行規則

明治三十三年八月二十一日  
文部省令第十四號

沿革

明治三十四年一月文部省令第二號、三十五年二月第三號、一二月第一、五號、三十六年三月第一號、四月第二、三號、一月第三、四號、三十七年二月第一號、一〇月第一、九號、三十八年五月第七號、四〇年三月第六號、六月第二〇號、八月第二、四號、四一年三月第八號、四月第一、五號、五月第一、八號、九月第二、六號、四二年四月第一、二號、四三年三月第四號、七月年第二、一號、四四年四月第一、五號、七月第二、四號、四五年一月第三號、大正二年七月第二〇號、第二、一號、三年一月第一號、一〇月第三〇號、七年三月第四號、八年三月第六號、九年八月第一、九號、第二、三號、一〇年八月第三、六號、一二年八月第三、五號、一三年八月第一、六號、一四年四月第一、三號、一五年四月第一、八號、六月第二、七號改正

小學校令施行規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

小學校令施行規則

第一章 教科及編制

第一節 教則

第二節 學年、休業日及式日

第三節 編制

第四節 補習科

第五節 教科用圖書



第二章 設備準則

第三章 就學

第四章 教員檢定及免許狀

第一節 教員ノ檢定

第二節 教員ノ免許狀

第五章 職員

第一節 學校長及教員ノ進退

第二節 學校長及教員ノ職務及服務

第三節 懲戒處分、業務停止及免許狀褫奪

第四節 俸給、旅費及諸給與準則

第五節 代用教員

第六章 授業料

第七章 學務委員

第八章 (削除)

第九章 小學校ニ類スル各種學校

第十章 附則

小學校令施行規則

第一章 教科及編制

第一節 教 則

第一條 小學校ニ於テハ小學校令第一條ノ旨趣ヲ遵守シテ兒童ヲ教育スヘシ

道德教育及國民教育ニ關聯セル事項ハ何レノ教科目ニ於テモ常ニ留意シテ教授センコトヲ要ス

知識技能ハ常ニ生活ニ必須ナル事項ヲ選ヒテ之ヲ教授シ反覆練習シテ應用自在ナラシメンコトヲ務ムヘシ

兒童ノ身體ヲ健全ニ發達セシメンコトヲ期シ何レノ教科目ニ於テモ其ノ教授ハ兒童ノ心身發達ノ程度ニ副ハシメンコトヲ要ス

男女ノ特性及其ノ將來ノ生活ニ注意シテ各適當ノ教育ヲ施サンコトヲ務ムヘシ

各教科目ノ教授ハ其ノ目的及方法ヲ誤ルコトナク互ニ相聯絡シテ補益センヨトヲ要ス

第二條 修身ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ニ基キテ兒童ノ徳性ヲ涵養シ道德ノ實踐ヲ指導ス



ルヲ以テ要旨トス

二四

尋常小學校ニ於テハ初ハ孝悌、親愛、勤儉、恭敬、信實、義勇等ニ就キ實踐ニ適切ナル近易ノ事項ヲ授ケ漸ク進ミテハ國家及社會ニ對スル責務ノ一班ニ及ホシ以テ品位ヲ高メ志操ヲ固クシ且進取ノ氣象ヲ長シ公德ヲ尙ハシメ忠君愛國ノ志氣ヲ養ハンコトヲ務ムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メテ一層陶冶ノ功ヲ堅實ナラシメンコトヲ務ムヘシ

女兒ニ在リテハ特ニ貞淑ノ徳ヲ養ハンコトニ注意スヘシ

修身ヲ授ケルニハ嘉言善行及諺辭等ニ基キテ勸戒シ常ニ之ヲ服膺セシメンコトヲ務ムヘシ

第三條 國語ハ普通ノ言語、日常須知ノ文字及文章ヲ知ラシメ正確ニ思想ヲ表彰スルノ能ヲ養ヒ兼テ智徳ヲ啓發スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ初ハ發音ヲ正シ假名ノ讀ミ方、書キ方、綴リ方ヲ知ラシメ漸ク進ミテハ日常須知ノ文字及普通文ニ及ホシ又言語ヲ練習セシムヘシ

高等小學校ニ於テハ稍々進ミタル程度ニ於テ日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ方綴リ方ヲ授ケ又言語ヲ練習セシムヘシ

讀ミ方、書キ方、綴リ方ハ各々其ノ主トスル所ニ依リ教授時間ヲ區別スルコトヲ得ルモ特ニ注意シテ相聯絡セシメンコトヲ要ス

讀本ノ文章ハ平易ニシテ國語ノ模範ト爲リ且兒童ノ心情ヲ快活純正ナラシムルモノナルヲ要シ其ノ材料ハ修身、歴史、地理、理科其ノ他生活ニ必須ナル事項ニ取り趣味ニ富ムモノタルヘシ

女兒ノ學級ニ用フル讀本ニハ特ニ家事上ノ事項ヲ交フヘシ

文章ノ綴リ方ハ讀ミ方又ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項兒童ノ日常見聞セル事項及處世ニ必須ナル事項ヲ記述セシメ其ノ行文ハ平易ニシテ旨趣明瞭ナランコトヲ要ス

書キ方ニ用フル漢字ノ書體ハ尋常小學校ニ於テハ楷書行書ノ二種トシ高等小學校ニ於テハ尙草書ヲ加フ

國語ヲ授ケル際ニハ語句文章ノ意義ヲ明瞭ニシ且其ノ用法ニ習熟セシメンコトヲ務ムヘシ

他ノ教科目ヲ授ケル際ニ於テモ常ニ言語ノ練習及文字ノ書キ方ニ注意セシメンコトヲ要ス

第四條 算術ハ日常ノ計算ニ習熟セシメ生活上必須ナル知識ヲ與ヘ兼テ思考ヲ精確ナラシ

二五



ムルヲ以テ要旨トス

二六

尋常小學校ニ於テハ初ハ小ナル整数ノ範圍内ニテ其ノ唱ヘ方、書キ方及簡易ナル計算ヲ授ケ次第ニ其ノ範圍ヲ擴メ小數、分數ニ及ホシ更ニ其ノ程度ヲ進メ且簡易ナル比例、歩合算ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ尋常小學校ニ於テ授ケタル事項ノ程度ヲ進メ且數ノ代數的計算及幾何圖形ニ關スル知識ノ初步ヲ授ケ又土地ノ情況ニ依リテハ日用簿記ノ大要ヲ課スヘシ  
算術ハ筆算ヲ用フヘシ尋常小學校ニ在リテハ土地ノ情況ニ依リ珠算ヲ併セ用フルコトヲ得高等小學校ニ在リテハ珠算ヲ併セ課スヘシ

算術ヲ授クルニハ實驗實測ヲ用ヒ運算ノ方法及理由ヲ正確ニ説明セシメテ理會ヲ精確ニシ運算ニ習熟シテ應用自在ナラシムコトヲ務メ又圖表複利表等ノ取扱ニ慣レシメ且暗算ニ熟達セシムコトヲ要ス

算術ノ問題ハ他ノ教科目ニ於テ授ケタル事項及土地ノ情況ヲ斟酌シテ日常適切ナルモノヲ選フヘシ

第五條 國史ハ國體ノ大要ヲ知ラシメ兼テ國民タルノ志操ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ建國ノ體制、皇統ノ無窮、歷代天皇ノ盛業、忠良賢哲ノ事蹟、國民

ノ武勇、文化ノ由來、外國トノ關係等ノ大要ヲ授ケ以テ國初ヨリ現時ニ至ルマテノ事歴ヲ知ラシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ノ旨趣ヲ擴メ特ニ近世史ニ重キヲ置キテ之ヲ授ケ我國發達ノ蹟ヲ知ラシムヘシ

國史ヲ授クルニハ成ルヘク圖畫、地圖、標本等ヲ示シ兒童ヲシテ當時ノ實狀ヲ想像シ易カラシメ特ニ修身ノ教授事項ト聯絡セシメンコトヲ要ス

第六條 地理ハ地球ノ表面及人類生活ノ狀態ニ關スル知識ノ一班ヲ得シメ又本邦國勢ノ大要ヲ理會セシメ兼テ愛國心ノ養成ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ本邦ノ地勢、氣候、區劃、都會、產物、交通等竝ニ地球ノ形狀、運動等ノ大要ヲ理會セシメ且滿洲地理ノ大要ヲ授ケ兼テ本邦トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ニ關スル簡單ナル知識ヲ得シムヘシ

高等小學校ニ於テハ各大洲ノ地勢、氣候、區劃、交通等ノ概略ヨリ進ミテ本邦トノ關係ニ於テ重要ナル諸國ノ地理ノ大要及本邦ノ政治經濟上ノ狀態竝ニ外國ニ對スル地位等ノ大要ヲ知ラシメ又地文ノ一班ヲ授クヘシ

地理ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ又地球儀、地圖、標本、寫真等ヲ示シテ確

二七



實ナル知識ヲ得シメ特ニ歴史及理科ノ教授事項ト聯絡セシメンコトヲ要ス

第七條 理科ハ通常ノ天然物及自然ノ現象ニ關スル知識ノ一班ヲ得シメ其ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシメ兼テ觀察ヲ精密ニシ自然ヲ愛スルノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ植物、動物、礦物及自然ノ現象ニ就キ主トシテ兒童ノ目撃シ得ル事項ヲ授ケ特ニ重要ナル植物、動物、礦物ノ名稱、形狀、效用及教育ノ大要ヲ知ラシメ又通常ノ物理化學上ノ現象及人身生理ノ初歩ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ特ニ重要ナル元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身ノ生理衛生ノ大要ヲ授ケ兼テ植物、動物、礦物ノ相互及人生ニ對スル關係ノ大要ヲ理會セシムヘシ

理科ニ於テハ務メテ農事、水産、工業、家事等ニ適切ナル事項ヲ授ケ特ニ植物、動物等ニ就キ教授スル際ニハ之ヲ以テ製スル重要ナル加工品ノ製法、效用等ノ概略ヲ知ラシムヘシ

理科ヲ授クルニハ成ルヘク實地ノ觀察ニ基キ若ハ標本、模型、圖畫等ヲ示シ又簡單ナル實驗ヲ施シ明瞭ニ理會セシメンコトヲ要ス

第八條 圖畫ハ通常ノ形體ヲ看取シ正シク之ヲ畫クノ能ヲ得シメ兼テ美感ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ單形ヨリ始メ漸ク簡單ナル形體ニ及ホシ實物若ハ手本ニ就キ又時々自己ノ工夫ヲ以テ畫カシムヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メテ諸般ノ形體ヲ畫カシムヘシ土地ノ情況ニ依リテハ簡易ナル幾何畫ヲ授クルコトヲ得

圖畫ヲ授クルニハ成ルヘク他ノ教科目ニ於テ授ケタル物體及兒童ノ日常目撃セル物體中ニ就キテ之ヲ畫カシメ兼テ清潔ヲ好ミ綿密ヲ尙フノ習慣ヲ養ハンコトニ注意スヘシ

第九條 唱歌ハ平易ナル歌曲ヲ唱フルコトヲ得シメ兼テ美感ヲ養ヒ徳性ノ涵養ニ資スルヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ平易ナル單音唱歌ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メテ授クヘシ又便宜簡易ナル複音唱歌ヲ授クルコトヲ得

歌詞及樂譜ハ平易雅正ニシテ兒童ノ心情ヲ快活純美ナラシムルモノタルヘシ

第十條 體操ハ身體ノ各部ヲ均齊ニ發育セシメ四肢ノ動作ヲ機敏ナラシメ以テ全身ノ健康



ヲ保護増進シ精神ヲ快活ニシテ剛毅ナラシメ兼テ規律ヲ守リ協同ヲ尙フノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ體操、教練、遊戲及競技ニ就キ簡易ナル動作ヨリ始メ漸ク其ノ程度ヲ進メテ之ヲ授クヘシ又男兒及女兒ノ別ニ依リ其ノ授クヘキ事項ヲ斟酌スヘシ

高等小學校ニ於テハ前項ニ準シ一層其ノ程度ヲ進メテ之ヲ授クヘシ

土地ノ情況ニ依リ體操ノ教授時間ノ一部若ハ教授時間ノ外ニ於テ適宜ノ戶外運動ヲ爲サシメ又水泳ヲ授クルコトアルヘシ

體操ノ教授ニ依リテ習成シタル姿勢ハ常ニ之ヲ保タシメンコトヲ務ムヘシ

第十一條 裁縫ハ通常ノ衣類ノ縫ヒ方及裁チ方等ニ習熟セシメ兼テ節約利用ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

尋常小學校ニ於テハ運針法ヨリ始メ漸ク通常ノ衣類ノ縫ヒ方ヲ授ケ又便宜裁チ方、縫ヒ方等ヲ授クヘシ

高等小學校ニ於テハ初ハ前項ニ準シ漸ク其ノ程度ヲ進メ通常ノ衣類ノ縫ヒ方、裁チ方、繕ヒ方ヲ授クヘシ

裁縫ハ其ノ材料ヲ日常所用ノモノニ取り之ヲ授クル際用具ノ使用方、材料ノ品類、性質

及衣類ノ保存方、洗濯方等ヲ教示スヘシ

第十二條 手工ハ簡易ナル物品ヲ製作スルノ能ヲ得シメ工業ノ趣味ヲ長シ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

手工ハ紙、絲、粘土、麥稈、木、竹、金屬等其ノ土地ニ適切ナル材料ヲ用ヒテ簡易ナル製作ヲ爲サシメ高等小學校ニ於テハ製圖及女兒ニ在リテハ手藝ヲ簡易ナル程度ニ於テ併セ授クヘシ

手工ヲ授クル際ニハ用具ノ使用方、材料ノ品類性質等ヲ教示スヘシ

第十三條 農業ハ農業ニ關スル普通ノ知識技能ヲ得シメ農業ノ趣味ヲ長シ勤勉利用ノ心ヲ養フヲ以テ要旨トス

農業ハ土地ノ情況ニ依リ農事若ハ水産ヲ授ケ又ハ農事、水産ヲ併セ授クヘシ

農事ハ土壤、水利、肥料、農具、耕耘、栽培、養蠶、養畜等ニ就キ土地ノ情況ニ適切ニシテ兒童ノ理會シ易キ事項ヲ授クヘシ

水産ハ漁撈、養殖、製造等ニ就キ其ノ土地授業務ニ適切ナルモノヲ授クヘシ

農業ヲ授クルニハ特ニ地理、理科等ノ教授事項ト關聯シ時々其ノ土地實際ノ業務ニ就キテ示教シ其ノ知識ヲ確實ナラシメンコトヲ務ムヘシ



第十三條ノ二 工業ハ工業ニ關スル普通ノ知識技能ヲ得シメ勤勉綿密ニシテ且創作工夫ヲ重スルノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

工業ハ木工、竹工、金工、塗工、染織等ニ就キ土地ノ情況ニ適切ニシテ兒童ニ趣味アル事項ヲ授ケ且材料ノ性質及用法並工具ノ使用法及保存法ヲ知ラシムヘシ

工業ヲ授クルニハ地理、理科、圖畫、手工等ノ教授事項ト關聯シ又時々其ノ土地ニ於ケル工場等ヲ見學セシメ實際ノ業務ト密接ナル關係アラシムコトヲ務ムヘシ

第十四條 商業ハ商業ニ關スル普通ノ知識技能ヲ得シメ勤勉敏捷ニシテ且信用ヲ重スルノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

商業ハ學校所在ノ地方ニ於ケル賣買、金融、運輸、保險其ノ他商業ニ關スル重要ナル事項ニシテ兒童ノ理會シ易キモノヲ選ビ國語、算術、地理、理科等ノ教授事項ト關聯シテ之ヲ授ケ且簡易ナル商用簿記ヲ授クヘシ

第十五條 家事ハ家事ニ關スル普通ノ知識技能ヲ得シメ家事ノ趣味ヲ長シ兼テ節約、利用、秩序、清潔ノ習慣ヲ養フヲ以テ要旨トス

家事ハ衣食住、看病、育兒其ノ他一家ノ經濟等ニ關スル事項ノ大要ヲ授クヘシ  
家事ヲ授クルニハ特ニ理科トノ聯絡ニ注意シ又實習ニ重キヲ置キ土地ノ情況ニ適切ナラ

シメンコトヲ務ムヘシ

第十六條 外國語ハ日常簡易ノ英語ヲ習得セシムルヲ以テ要旨トス

外國語ハ發音、綴字ヨリ始メ簡易ナル文章ノ讀ミ方、話シ方、綴リ方、書キ方ヲ授クヘシ

外國語ヲ授クルニハ成ルヘク日常ノ生活ニ關聯セシメテ其ノ理會ヲ容易ニシ練習ニ重キヲ置クヘシ

第十七條 尋常小學校各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ第四號表ニ依ルヘシ

手工ヲ加フルトキ又ハ第一學年、第二學年ニ於テ圖畫ヲ課スルトキハ其ノ每週教授時數ハ學校長ニ於テ他ノ教科目ノ每週教授時數ヲ減シ之ニ充ツヘシ

第十七條ノ二 第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ教科目ノ每週教授時數ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十八條 高等小學校各學年ノ教授ノ程度及每週教授時數ハ第五號表又ハ第六號表ニ依ルヘシ

第十八條ノ二ノ規定ニ依リ實業ヲ隨意科目ト爲シタル場合ニ於テ之ヲ學習セサル兒童ニ對シテハ其ノ每週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スヘシ



實業ニ於テ工業ヲ學習スル爲手工ヲ課セサル兒童ニ對シテハ其ノ每週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第三學年ニ於ケル圖畫、唱歌ヲ隨意科目ト爲シタル場合ニ於テ之ヲ學習セサル兒童ニ對シテハ其ノ每週教授時數ヲ學校長ニ於テ他ノ教科目ニ配當スルコトヲ得

第十八條ノ二 實業ハ特別ノ事情アル場合ニ限り管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ヲ隨意科目ト爲スコトヲ得

第十九條 土地ノ情況ニ依リ管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ左ノ制限内ニ於テ第十七條及第十八條ノ規定ニ依ル時數ヲ増減スルコトヲ得

一、尋常小學校ノ每週教授時數ハ三十時ヲ超エ又十八時ヲ下ルコトヲ得ス

二、高等小學校ノ每週教授時數ハ三十二時ヲ超エ又二十七時ヲ下ルコトヲ得ス

第三十四條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ每週教授時數ハ各部十八時以上トス但シ年少ノ部ニ在リテハ之ヲ十二時マテニ減スルコトヲ得

第二十條 學校長ハ夏季冬季休業日ノ前後各々二十日以内ニ於テ毎日ノ教授時數ヲ減スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ教授時數ヲ減スルトキハ學校長ニ於テ便宜各教科目ノ每週教授時數ヲ

斟酌スヘシ

第二十一條 尋常小學校若ハ高等小學校ニ於テ數學年ノ兒童ヲ一學級ニ編制スルトキハ各學年ノ程度ニ拘ラス全部又ハ一部ノ兒童ヲ同一ノ程度ニ依リ教授スルコトヲ得

第二十二條 學校長ハ其ノ小學校ニ於テ教授スヘキ各教科目ノ教授細目ヲ定ムヘシ

第二十三條 小學校ニ於テ各學年ノ課程ノ修了若ハ全教科ノ卒業ヲ認ムルニハ別ニ試験ヲ用フルコトナク兒童平素ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ムヘシ

第二十四條 學校長ハ修業年限ノ終ニ於テ尋常小學校若ハ高等小學校ノ教科ヲ修了セリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與スヘシ

學校長ハ學年末ニ於テ各學年ノ課程ヲ修了セリト認メタル者ニハ修業證書、第二十一條ノ規定ニ依リ一學年間學習セシ者ニハ學習證書ヲ與フルコトヲ得

第二節 學年、休業日及式日

第二十五條 小學校ノ學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

前項ニ依ル學年ノ外土地ノ情況ニ依リ九月一日ニ始リ翌年八月三十一日ニ終ル學年ヲ置クコトヲ得

小學校ノ學期ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ



第二十六條 毎日ノ教授終始ノ時刻ハ學校長之ヲ定ムヘシ

第二十七條 小學校ノ休業日ハ左ノ如シ但シ第三號乃至第六號ノ休業日ハ學年ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

一、祝日、大祭日

二、日曜日

三、夏季休業日

四、冬季休業日

五、學年末休業日

六、其ノ他府縣知事ノ定ムル休業日

前項第三號乃至第五號ノ休業日數ハ府縣知事之ヲ定ムヘシ

第二十八條 紀元節、天長節祝日及一月一日ニ於テハ職員及兒童、學校ニ參集シテ左ノ式ヲ行フヘシ

一、職員及兒童「君カ代」ヲ合唱ス

二、職員及兒童ハ

天皇陛下

皇后陛下ノ御影ニ對シ奉リ最敬禮ヲ行フ

三、學校長ハ教育ニ關スル勅語ヲ奉讀ス

四、學校長ハ教育ニ關スル勅語ニ基キ聖旨ノ在ル所ヲ誨告ス

五、職員及兒童ハ其ノ祝日ニ相當スル唱歌ヲ合唱ス

御影ヲ拜戴セサル學校及特ニ府縣知事ノ認可ヲ受ケ複寫シタル御影若ハ府縣知事ニ於テ適當ト認めタル御影ヲ奉藏セサル學校ニ於テハ前項第二號ノ式ヲ闕ク

第三節 編 制

第二十九條 小學校ノ學級數ハ二十四學級以下トス

特別ノ事情アルトキハ市町村立小學校ニ在リテハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ私立小學校ニ在リテハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

特別ノ事情ニ依リ小學校ニ於テ分教場ヲ設クルトキハ一分教場ノ學級數ハ六學級以下トシ第一項ノ制限外ト爲スコトヲ得

第三十條 一學級ノ兒童數ハ尋常小學校ニ在リテハ七十人以下、高等小學校ニ在リテハ六十人以下トス



特別ノ事情アルトキハ前項ノ制限ヲ超過シテ各々十人マテヲ増スコトヲ得

第三十一條 尋常小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ同一學年ノ女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ該學年ノ學級ヲ別ツヘシ

第一學年及第二學年ニ在リテハ前項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

高等小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全校女兒ノ數一學級ヲ編制スルニ足ルトキハ男女ニ依リ學級ヲ別ツヘシ

特別ノ事情アルトキハ第一項又ハ第三項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第三十二條 (削除)

第三十三條 修身、體操、唱歌、裁縫、手工、實業及小學校令第二十條第二項ニ依リ加ヘタル教科目ハ數學級ノ全部又ハ一部ノ兒童ヲ合セテ同時ニ之ヲ教授スルコトヲ得但シ裁縫、手工、實業ニ就キテハ兒童ノ數七十人ヲ超エサル場合ニ限ル

第三十四條 土地ノ情況ニ依リ尋常小學校若ハ其ノ分教場ニ於テ全部若ハ一部ノ兒童ヲ前後二部ニ分チテ教授スルコトヲ得

第三十五條 尋常小學校ニ於テハ各學級ニ本科正教員一人ヲ置クヘシ

高等小學校ニ於テハ其ノ學級數ニ等シキ員數ノ本科正教員ヲ置クノ外教科目、教授時數、

兒童數等ニ應シ必要ナル員數ノ本科正教員又ハ專科正教員ヲ置クヘシ

土地ノ情況ニ依リ尋常小學校ニ在リテハ二學級毎ニ本科正教員一人及准教員一人又ハ三學級毎ニ本科正教員二人ヲ置クコトヲ得

必要アル場合ニ於テハ前三項ノ規定ニ依ルノ外向准教員ヲ置キ兒童ノ教授ヲ補助セシムルコトヲ得

前條ノ規定ニ依リ二部教授ヲ爲ス場合ニ於テハ前後二學級毎ニ本科正教員一人ヲ置クヲ常例トス

第三十六條 六學級以上ノ小學校ニ於テハ學校長ノ擔任スル教授ヲ補助スル爲正教員一人若ハ准教員一人ヲ置クコトヲ得

第三十七條 尋常小學校ニ於テハ適宜專科正教員ヲ置クコトヲ得

第三十八條 補習科ノ學級數ハ第二十九條ニ規定シタル學級數ノ制限外トス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第三十九條 全校兒童ヲ一學級ニ編制スル學校ヲ單級小學校トシ二學級以上ニ編制スル學校ヲ多級小學校トス

第四十條 (削除)



第四十一條 小學校ノ學級ヲ編制シ又ハ變更シタルトキハ遲滯ナク管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ニ届出ツヘシ

第四節 補習科

第四十二條 補習科ハ分テ尋常小學校補習科及高等小學校補習科トス

尋常小學校補習科ハ尋常小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ

尋常小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

高等小學校補習科ハ高等小學校ヲ卒業シタル者及之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者ヲシテ

高等小學校ノ教科目ヲ補習セシムルヲ以テ目的トス

第四十三條 補習科ノ教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

前項ノ規定ニ依リ定メタル教科目ハ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ隨意科目ト爲スヲ得

第四十四條 補習科ノ教科用圖書ハ學校長ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十五條 補習科ノ教科ヲ授クルニハ其ノ土地ノ業務ニ適切ナル事項ヲ交フヘシ

第四十六條 補習科ノ修業年限ハ二箇年以下トシ市町村、市町村學校組合、町村學校組合

又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十七條 補習科ノ教授ハ一定ノ季節ヲ選ヒテ之ヲ爲スコトヲ得

第四十八條 補習科ノ教授時間及毎週教授時數ハ兒童ノ便宜ヲ圖リ管理者又ハ設立者ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第四十九條 高等小學校補習科ノ學級ハ男女ヲ合シテ之ヲ編制スルコトヲ得ス但シ其ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ此ノ限ニアラス

第五十條 補習科ノ教場ハ正教科ヲ授クル校舍外ニ之ヲ設クルコトヲ得

第五十一條 補習科ノ教授ハ正教科ヲ教授スル教員又ハ代用教員ニ於テ之ヲ擔任スヘシ

補習科ノ教授時間ヲ正教科ノ教授時間内ニ定メタルトキハ前項ノ規定ヲ適用セシメ特別ノ事情アルトキハ前二項ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第五十二條 第四十三條第一項、第四十四條第四十六條及第四十八條ノ場合ニ於テハ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第五節 教科用圖書

第五十三條 小學校教科用圖書中修身、國語、算術、歴史、地理、理科、家事、圖書ヲ除キ其ノ他ノ圖書ニ限リ文部省ニ於テ著作權ヲ有スルモノ及文部大臣ノ檢定ヲ經タルモノニ就キ府縣知事之ヲ採定ス但體操、裁縫、手工及尋常小學校第四學年以下ノ唱歌ニ關シ



テハ兒童ニ使用セシムヘキ圖書ヲ採定スルコトヲ得ス又國語書キ方、算術、理科、家事圖書ノ教科用圖書及小學地理附圖ハ學校長ニ於テ之ヲ兒童ニ使用セシメサルコトヲ得

第五十四條 小學校令第二十四條第二項又ハ前條ニ依リ教科用圖書ヲ採定シタルトキハ之ヲ使用セントスル學年ノ開始ヨリ九十日前ニ其ノ旨ヲ公布スヘシ

特別ノ事情アルトキハ前項ノ公布期間ニ依ラサルコトヲ得

第五十五條 文部大臣ノ檢定ヲ經タル小學校教科用圖書ノ定價ヲ増加シタルトキハ其ノ採定ハ效力ヲ失フ

第五十六條 小學校教科用圖書ヲ變更シタル場合ニ於テハ其ノ圖書ハ最下學年ノ兒童ヨリ用ヒシメ其ノ他ノ兒童ニハ從來ノ圖書ヲ費用セシムヘシ

第五十七條 小學校教科用圖書ノ採定ニ關シ其ノ前後ヲ問ハス左ノ各號ノ一ニ該當スル所爲アル者ハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以内ノ罰金ニ處ス

一、直接又ハ間接ニ金錢物品手形其ノ他利益若ハ公私ノ職務ヲ官吏、學校職員若ハ運動者ニ供與シ又ハ供與センコトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込ヲ承諾センコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若ハ申込ヲ承諾シタル者

二、直接又ハ間接ニ酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハス人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ宿泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三、官吏、學校職員又ハ其ノ關係アル學校法人等ニ對スル利害ノ關係ヲ利用シ直接若ハ間接ニ官吏、學校職員ヲ誘導シ又ハ威逼シタル者及其ノ誘導威逼ニ應シタル者

四、官吏又ハ學校職員ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者

五、採定ヲ妨クル目的ヲ以テ新聞雜誌張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス官吏又ハ學校職員ニ對シ處偽ノ事項ヲ流布シタル者

第五十八條乃至第六十三條 (削除)

## 第二章 設備準則

第六十四條 校地、校舍、體操場及校具ハ學校ノ規模ニ適應スルヲ要ス

校地ハ道徳上並ニ衛生上害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ選フヘシ

校舍ハ教授上、管理上並ニ衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナランコトヲ要ス

第六十五條乃至第七十四條 (削除)



第七十五條 土地ノ情況ニ依リ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設クヘシ

第七十六條 校舍ヲ新築、増築、改築シ若ハ市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ撰定シ又ハ變更セントスルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第七十七條乃至第七十九條 (削除)

### 第三章 就 學

第八十條 市町村長ハ其ノ市町村内ニ居住シ翌年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調査シ第九號表ノ様式ニ依リ毎年十二月末日マテニ其ノ學齡簿ヲ編製スヘシ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ヲ調査シ毎年六月末日マテニ學齡簿ヲ編製スヘシ

第八十一條 市町村長ハ學齡簿編製後三月三十一日マテニ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滯ナク之ヲ學齡簿ニ記入スヘシ但シ第二十五條第二項ニ依ル場合ニ於テハ市町村長ハ學齡簿編製後八月三十一日マテニ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者ヲ遲

滯ナク學齡簿ニ記入スヘシ

市町村長ハ就學期間中ニ在ル兒童ニシテ其ノ市町村ニ來住シタル者アルトキハ遲滯ナク其ノ兒童ノ就學ノ始期ニ達シタル年ノ學齡簿ニ記入スヘシ

市町村長ハ學齡簿ニ登載ノ兒童ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者アルトキハ遲滯ナク之ヲ抹消スヘシ但シ第二號ニ該當スル者アルトキハ市町村長ハ之ヲ抹消スルト同時ニ學齡簿ノ謄本ヲ兒童ノ轉住地ノ市町村長ニ送付スヘシ

一、兒童死亡シタルトキ

二、兒童市町村外ニ轉住シタルトキ

三、兒童ノ居所一箇年以上分明ナラサルトキ

前項但書ニ依リ學齡簿ノ謄本ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ送付シタル市町村長ニ對シ遲滯ナク學齡簿ニ記入ノ手續ヲ完了シタル旨又ハ兒童ノ來住セサル旨ヲ通知スヘシ

第二項及第三項ノ外學齡簿ニ記載ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滯ナク之ヲ加除訂正スヘシ

第八十二條 市町村長ハ兒童ヲシテ市町村立尋常小學校ニ入學セシムヘキ期日ヲ豫メ其ノ保護者ニ通知スヘシ



市町村、町村學校組合又ハ學區ノ使用ニ係ル尋常小學校二校以上アル場合ニ於テハ市町村長、前項ノ通知ヲ爲スニ當リ兒童ノ入學スヘキ尋常小學校ヲ指定スルコトヲ得但シ兒童ノ保護者ハ其ノ兒童ノ入學セシメントスル尋常小學校ヲ選定シテ之ヲ市町村長ニ申立ツルコトヲ得

第八十三條 市町村長ハ前條ノ規定ニ依リ通知シタル兒童ノ氏名及入學期日ヲ關係學校長ニ通知スヘシ其ノ通知ヲ爲シタル後兒童ノ就學ニ關シ異動ヲ生シタルトキ又同シ

第八十四條 就學スヘキ兒童又ハ其ノ保護者ニシテ小學校令第二十三條ニ掲クル事由アルトキハ其ノ保護者ハ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ市町村長ニ申立ツヘシ但シ貧窮ニ因ル場合ヲ除ク外醫師ノ證明書ヲ添フルコトヲ要ス

第八十五條 就學猶豫ノ期間ハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ一箇年トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ一箇年以下トス

第二十五條第二項ノ學年ヲ置キタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ五箇月其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ七箇月トシ既ニ就學ノ始期ニ達シタル兒童ニ在リテハ各五箇月以下又ハ七箇月以下トス

第八十六條 市町村長ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ノ教育ヲ監督スヘシ必要ト認めタルトキハ其ノ兒童ニ就キ試験ヲ行フコトヲ得

第八十七條 市町村長ハ前條ノ兒童ノ教育ヲ不適當ナリト認めタルトキハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ與ヘタル認可ヲ取消スヘシ

第八十八條 兒童ノ保護者ニ於テ其ノ兒童ヲ當然入學セシムヘキ學校以外ノ市町村立尋常小學校ニ入學セシメ又ハ官立、府縣立學校ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メントスルトキ若ハ高等學校及中學校ノ豫科又ハ盲學校及聾啞學校ノ初等部ニ入學セシメントスルトキハ其ノ學校ノ管理者又ハ學校長ノ承認書ヲ添ヘ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第八十九條 市町村立尋常小學校長ハ第十號表ノ様式ニ依リ學年ノ始ニ於テ入學シタル兒童ノ學簿簿ヲ編製スヘシ

學籍簿ハ入學ノ兒童ニ異動ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ加除訂正スヘシ

第九十條 市町村立尋常小學校長ハ在學兒童ノ出席簿ヲ作り其ノ出席缺席ヲ明ニスヘシ

第九十一條 市町村立尋常小學校長ハ第八十三條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル兒童中入學期日後七日以内ニ其ノ小學校ニ入學セサル者アルトキハソノ氏名ヲ關係市町村長ニ報告



スヘシ

四八

第九十二條 在學兒童ニシテ正當ノ事由ナク引續キ七日間缺席シタルトキハ關係學校長ハ遲滯ナクソノ保護者ニ對シ兒童ヲシテ出席セシムヘキ旨ヲ通知シ仍引續キ七日以上出席セシメサルトキハソノ旨ヲ關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十三條 市町村長ニ於テ前二條ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シソノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

前項ノ規定ニ依リ二回以上ノ督促ヲ爲スモ仍就學又ハ出席セシメサルトキハ市町村長ハソノ旨ヲ府縣知事ニ報告スヘシ

第九十四條 府縣知事ニ於テ前條第二項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ關係兒童ノ保護者ニ對シソノ兒童ノ就學又ハ出席ヲ督促スヘシ

第九十五條 市町村立尋常小學校長ハ每學年ノ終ニ卒業シタル兒童ノ氏名ヲ遲滯ナク關係市町村長ニ報告スヘシ

第九十六條 第八十八條ノ規定又ハ小學校令第三十六條第一項但書ノ規定ニ依リ當然入學スヘキ學校以外ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル兒童ニシテソノ教科ヲ卒リタルトキ又ハソノ教科ヲ卒ラスシテ退學シ若ハ廢學シタルトキハ關係學校長又ハ兒童ノ保護者ハ其

ノ旨ヲ關係市町村長ニ届出ツヘシ

第九十七條 (削除)

## 第四章 教員檢定及免許狀

### 第一節 教員ノ檢定

第九十八條 小學校教員檢定委員會ハ左ノ職員ヲ以テ之ヲ組織ス

一、會長

一、常任委員

一、臨時委員

第九十九條 會長ハ道廳府縣學務部長タル書記官ヲ以テ之ニ充ツ

常任委員及臨時委員ハ府縣知事之ヲ命ス

臨時委員ハ試驗施行ノ際之ヲ命ス

第一百條 會長ハ會務ヲ整理シ檢定ノ成績ヲ府縣知事ニ報告ス

會長事故アルトキハ府縣知事ノ指名シタル委員其ノ職務ヲ代理ス

第一百一條 常任委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ教員檢定ニ關スル事ヲ掌ル



臨時委員ハ會長ノ指揮ヲ承ケ試験ニ關スル事ヲ掌ル

第百二條 小學校教員檢定委員會ハ書記ヲ置キ道廳府縣判任官ヲ以テ之ニ充ツ  
書記ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

第百三條 會長、常任委員、臨時委員及書記ニハ手當ヲ給スルコトヲ得

第百四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教員ノ檢定ヲ受クルコトヲ得ス

一、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二、(削除)

三、破産者

四、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ三箇年ヲ經過セサル者

第百五條 教員ノ檢定ハ分テ無試験檢定及試験檢定トシ學力、性行及身體ニ就キ之ヲ行フ

第百六條 試験檢定ハ每年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試験檢定ハ隨時ト行フ

第百七條 無試験檢定ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ第百八條乃至第百十二條ノ規定ニ對照シテ之ヲ行フ

一、師範學校、中學校、高等女學校教員免許狀若ハ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者

二、高等學校高等科又ハ大學豫科ヲ卒ヘタル者

三、文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者

四、中學校又ハ高等女學校ヲ卒業シタル者

五、公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依リ認定セラレタル學校ノ卒業生、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者及一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受クル資格ヲ有スル者

六、其ノ他府縣知事ニ於テ特ニ適任ト認メタル者

前項第四號及第五號ニ該當スル者ニ對シ小學校本科正教員ノ檢定ヲ行フ場合ハ卒業後二箇年以上小學校教育ニ従事シタル者又ハ高等女學校ノ高等科、專攻科若ハ修業年限一年以上ノ補習科ニ於テ小學校教員ニ適スル教育ヲ受ケ卒業シタル者ニ限ル

第百八條 小學校本科正教員ノ試験科目及其ノ程度ハ男子ニ在リテハ師範學校男生徒、女子ニ在リテハ師範學校女生徒ニ課スル學科程度ニ準ス但シ手工、農業、商業、英語ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ關クコトヲ得

本條ニ小學校本科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ本科正教員タルコトヲ



得ヘキ者ヲ謂フ

第九條 小學校准教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在リテハ體操ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨

教育 教育、教授法ノ大要

國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字

算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積、代數及幾何ノ初歩

歴史 國史ノ大要

地理 日本地理及外國地理ノ大要

理科 博物、物理、化學ノ大要

圖畫 自在畫及簡易ナル幾何畫

音樂 唱歌、樂器使用法

體操 體操、教練、遊戲及競技

裁縫 通常ノ衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方

手工 手工ノ大要

農業 農業ノ大要

商業 商業ノ大要

前項ノ科目中裁縫ハ女子ニ限ル

圖畫、音樂、手工、農業、商業ノ一科目若ハ數科目ハ之ヲ關クコトヲ得

本條ニ小學校准教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ准教員タルコトヲ得ヘキ者ヲ謂フ

第十條 小學校專科正教員ノ試験科目ハ音樂、體操、裁縫、手工、農業、工業、商業、家事、圖畫、外國語ノ一科目若ハ數科目トス

府縣知事ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ前項試験科目ノ外必要ナル科目ニ付試験ヲ行フコトヲ得  
試験科目ノ程度ハ師範學校生徒ニ課スル各科目ノ程度ニ準ス但シ前項ノ試験科目ニ在リテハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

各科目ノ試験ハ教育ノ大要及受験科目ノ教授法ヲ附帶セシメ之ヲ行フ

小學校專科正教員ノ試験ハ小學校教員檢定委員會ニ於テ修身、國語、算術ニ關シ普通ノ學力ヲ有スト認メタル者ニアラサレハ之ヲ行ハス

本條ニ小學校專科正教員トアルハ尋常小學校及高等小學校ニ於テ專科正教員タルコトヲ



得ヘキ者ヲ謂フ

五四

第百十一條 尋常小學校本科正教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在リテハ  
體操ハ女子ノ小學校本科正教員ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ  
修身 道德ノ要旨  
教育 教育、教授法及學校管理法ノ大要  
國語 普通文及小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字  
算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例、求積  
歴史 國史ノ大要  
地理 日本地理及外國地理ノ大要  
理科 博物、物理、化學ノ大要  
圖書 自在書  
音樂 唱歌、樂器使用法  
體操 體操、教練、遊戲及競技  
裁縫 通常ノ衣類ノ裁チ方、縫ヒ方、繕ヒ方  
前項ノ科目中裁縫ハ女子ニ限ル

第百十二條 尋常小學校准教員ノ試験科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ女子ニ在リテハ體操  
ハ第百十一條第一項但書ニ準シ其ノ程度ヲ斟酌スヘシ

修身 道德ノ要旨  
教育 教育、教授法ノ大要  
國語 小學校教科用讀本ノ講讀並ニ作文、習字  
算術 整數、分數、小數、諸等數、步合算、比例  
歴史 國史ノ大要  
地理 日本地理及外國地理ノ大要  
理科 博物、物理、化學ノ初步  
圖書 簡易ナル自在書  
唱歌 單音唱歌  
體操 體操、教練、遊戲及競技  
圖書 唱歌ノ一科目若ハ二科目ハ之ヲ關クコトヲ得

第百十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ試験檢定ヲ行フトキハ小學校教員檢定委員  
會ニ於テ第百八條乃至第百十二條ノ規定ニ對照シテ某科目ニ關シ同等以上ノ學力アリト

五五



認めタル者ニ對シテハ其ノ科目ノ試験ヲ關クコトヲ得

一、師範學校、中學校、高習女學校教員免許狀若ハ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者

二、小學校教員免許狀ヲ有スル者

三、文部省直轄學校ニ於テ某科目ニ關シ特ニ教員ノ職ニ適スル教育ヲ受ケテ卒業シタル者

四、小學校教員免許狀又ハ小學師範學科卒業證書ヲ有シ其ノ有効期間滿チタル者

五、小學校教員講習科ヲ卒リタル者

六、中學校又ハ高等女學校ヲ卒業シタル者

七、公立私立學校認定ニ關スル規則ニ依リ認定セラレタル學校ヲ卒業シタル者、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者及一般ノ專門學校入學ニ關シ無試験檢定ヲ受ケタル資格ヲ有スル者

第十四條 試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セサルモ某科目ニ關シ成績佳良ナルトキハ府縣知事ハ其ノ科目ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スルコトヲ得

前項ノ證明書ヲ受ケタル者ニシテ更ニ試験檢定ヲ出願スルトキハ其ノ證明書ニ記載シタ

ル科目ノ試験ヲ關ク

第十五條 府縣知事ハ檢定手数料ヲ徵收スルコトヲ得

### 第二節 教員ノ免許狀

第十六條 (削除)

第十七條 師範學校長ハ師範學校ヲ卒業シタル者ニ對シ小學校教員免許狀ノ授與ヲ府縣知事ニ申請スヘシ

第十八條 (削除)

第十九條 府縣知事ハ小學校教員免許狀登録簿ヲ作り免許狀ヲ授與シタ者ルノ氏名其ノ他必要ナル事項ヲ記入スヘシ

第二十條 免許狀ヲ有スル者其ノ氏名ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ書換若ハ再渡ヲ府縣知事ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ府縣知事ノ定メタル金額ヲ納ムヘシ

第二十一條 免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名及免許狀ノ種類ハ府縣知事之ヲ公告ス



## 第五章 職員

五八

### 第一節 學校長及教員ノ進退

第二百二十二條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ府縣知事ハ之ニ休職ヲ命スルコトヲ得

- 一、傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ職務ヲ行フニ妨アルトキ
- 二、學校編製ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ困リ過員ヲ生シタルトキ
- 三、教員養成ヲ目的トスル官立、府縣立學校ニ入學スルトキ
- 四、名譽職タル町村長及助役ニ當選シタルトキ
- 五、私立小學校ノ教員又ハ外國ニ於テ本邦人ヲ教育スル爲ニ設置シタル學校ノ教員トナルトキ
- 六、刑事々件ニ關シ告訴若ハ告發セラレタルトキ
- 七、一年現役兵トシテ服役シタル後陸軍補充令第三十七條ニ依リ勤務演習ニ召集セラレタルトキ

第二百二十三條 市町村立小學校正教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セ

ラレタル者ハ當然休職者トス但シ徵兵令第十四條ノ規定ニ依リ一年現役兵トシテ服役スル者又ハ陸軍六週間現役ニ服スル者ハ此ノ限ニアラス

第二百二十四條 休職ノ期間ハ第二百二十二條第一號第二號第四號及第五號ノ場合ニ在リテハ一箇年トシ同條第六號ノ場合ニ在リテハ其ノ事件ノ裁判所ニ繫屬中トシ同條第三號及第三百二十三條ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙三箇月、第三百二十二條第七號ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙一箇月トス但シ第三百二十二條第五號後段ノ場合ニ在リテハ府縣知事ハ其ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第二百二十五條 休職者ハ職務ニ從事セアル外總テ在職者ト異ナルコトナシ但シ別段ノ規定アルモノハ此ノ限リニアラス

第二百二十六條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ府縣知事ハ之ニ退職ヲ命スルコトヲ得

- 一、不具、癡疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
- 二、傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ出願シタルトキ
- 三、休職者復職シタル爲其ノ代員ヲ要セサルトキ



第二百二十七條 第二百二十二條又ハ第二百二十六條ノ事由ニ因ラスシテ休職又ハ退職ヲ命スル必要アリト認めタルトキハ府縣知事ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得但シ休職ノ場合ニ於テハ豫メ期間ヲ定メテ具申スルコトヲ要ス

第二百二十八條 市町村立小學校正教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

一、當該學校ノ廢セラレタルトキ

二、休職期間滿チタルトキ

第二百二十九條 市町村立小學校教員ニシテ免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケ又ハ其ノ免許狀ニシテ效力ヲ失ヒタルトキハ當然其ノ職ヲ失フ

第二百三十條 市町村立小學校准教員ノ進退ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第二百三十一條 第二百二十二條第一號、第二百二十六條第一號及第二號前段ノ事由ニ因リ處分セントスルトキハ府縣知事ハ其ノ府縣恩給顧問醫ノ意見ヲ聞クコトヲ要ス（自然消滅）

第二百三十二條 私立小學校長及教員ノ採用解職ハ設立者ニ於テ遲滯ナク府縣知事ニ届出ツヘシ

### 第二節 學校長及教員ノ職務及服務

第二百三十三條 學校長及教員ハ教育ニ關スル勅語ノ旨趣ヲ奉體シ法律命令ニ從ヒ誠實ニ其ノ職務ニ服スヘシ

第二百三十四條 學校長ハ校務ヲ整理シ所屬職員ヲ統督ス

第二百三十五條 正教員ハ兒童ノ教育ヲ擔任シ且之ニ屬スル事務ヲ掌ル

第二百三十六條 准教員ハ本科正教員ノ職務ヲ助ク

第二百三十七條 市町村立小學校長及教員ハ當該學校所在ノ市町村、市町村學校組合、町村學校組合ノ地域内ニ居住スヘシ但シ學校長ニ在リテハ府縣知事、其ノ他ノ者ニ在リテハ學校長ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ擅ニ其ノ職務ヲ離レ又ハ職務上居住スヘキ地ヲ離ル、コトヲ得ス

第二百三十八條 學校長及教員ハ營利ヲ目的トスル會社ノ業務執行社員、取締役、監査役ト爲リ又ハ給料ヲ受ケテ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス但シ府縣知事ノ認可ヲ受ケタルトキハ此ノ限ニアラス

學校長及教員ハ府縣知事ノ認可ヲ受クルニアラサレハ營利ヲ目的トスル業務ヲ爲スコトヲ得ス

### 第三節 懲戒處分、業務停止及免許狀褫奪



第三百二十九條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行ハントスルトキハ府縣知事ハ期間ヲ定メ本人ヨリ手續書ヲ徵スルコトヲ要ス但シ之ヲ徵スルコト能ハサル事由アルトキハ此ノ限ニアラス

第四百十條 懲戒處分ヲ行フヘキ事件刑事裁判所ニ繫屬スル間ハ同一事件ニ關シ懲戒處分ヲ行フコトヲ得ス

第四百十一條 市町村立小學校長及教員ニ對シ懲戒處分ヲ行フトキハ府縣知事ハ本人ニ處分書ヲ交付スヘシ

第四百十二條 市町村立小學校長及教員ノ減俸ハ一箇月以上一箇年以下減俸ノ處分ヲ受ケタル當時ノ俸給月額 三分ノ一以下ヲ減給ス

第四百十三條 市町村立小學校教員ニシテ免職ノ處分ヲ受ケタル者ハ二箇年ヲ經ルニアラサレハ教員ノ職ニ就クコトヲ得ス

第四百十四條 第三百二十九條乃至第四百十一條ノ規定ハ業務停止及免許狀褫奪ノ處分ニ關シ之ヲ準用ス

第四百十五條 私立小學校長及教員ノ業務停止ハ一箇月以上二箇年以下トス

第四百十六條 府縣知事ニ於テ學校長又ハ教員ニ對シ免職、業務停止又ハ免許狀褫奪ノ處

分ヲ行ヒタルトキハ其ノ氏名、職名及事由ヲ具シ文部大臣ニ報告スヘシ

第四百十七條 府縣知事ハ免職又ハ業務停止ノ處分ヲ受ケタル學校長及教員ニシテ改倭ノ實顯著ナリト認メタル者ニハ第四百十三條ノ期間内又ハ業務停止ノ期間内ト雖モ文部大臣ノ認可ヲ受ケ教員ノ職ニ就クコトヲ得シメ又ハ業務停止ヲ解クコトヲ得

第四節 俸給、旅費及諸給與準則

第四百十八條 教員ノ月俸額ハ左表ニ依リ之ヲ定ムヘシ

職名	本科正教員		專科正教員		准教員	
	上	下	上	下	上	下
一級	百八十圓	百六十圓	百二十圓	百十圓	六十圓	五十五圓
二級	百四十五圓	百三十圓	百圓	九十圓	五十圓	四十五圓
三級	百二十四圓	百十圓	八十圓	七十五圓	四十圓	三十五圓
四級	百圓	九十圓	七十圓	六十五圓	三十三圓	三十圓
五級	八十五圓	八十圓	六十圓	五十五圓		
六級	七十五圓	七十圓	五十圓	四十五圓		
七級	六十五圓	六十圓	四十圓	三十五圓		
八級	五十五圓	五十圓				
九級	四十五圓	四十圓				

第四百十九條 一級上俸ヲ受ケ特ニ功勞アル者ニハ本科正教員ニ在リテハ二百四十圓マテ專科正教員ニ在リテハ百六十圓マテ漸次増給スルコトヲ得



第五十條 教員ノ俸給ハ當分ノ内等級相當ノ額ヲ減シテ之ヲ支給スルコトヲ得

第五十一條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼ヌル者ニハ關係學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトヲ得

第五十二條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトヲ得ス

第五十三條 休職者ニハ其ノ休職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス但シ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ特別ノ事情アル場合若ハ第二百二十二條第三號乃至第五號ニ該當スル者ニ對シテハ之ヲ給セサルコトヲ得

第五十三條ノ二 市町村立小學校正教員ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依ル一年現役ニ服スル者ハ其ノ在營中俸給ノ三分ノ二ヲ減ス

第五十四條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス但シ其ノ額ハ府縣知事ニ於テ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ノ意見ヲ聞キ之ヲ定ムヘシ

第五十五條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第五十六條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ給スヘシ

一、懲戒ニ因リ免職ニ處セラレタルトキ

二、免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失效ニ因リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第五十七條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト休職中トニ拘ラス在職最終ノ俸給月額四箇月分ヲ其ノ遺族ニ給スヘシ

前項ノ遺族及其ノ順位ニ關シテハ判任官俸給令第十三條第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス  
第五十八條 正教員ノ旅費額ハ判任文官ノ例ニ準シ之ヲ定メ准教員ノ旅費額ハ地方ノ情況ヲ量リ之ヲ定ムヘシ但シ正教員ニシテ奏任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル學校長ヲ兼務スル者ノ旅費額ハ奏任文官ノ例ニ準シ之ヲ定ムヘシ

第五十九條 教員ニシテ一週三十二時ヲ超エ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給スヘシ

第六十條 學校長又ハ教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトヲ得

第六十一條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第六十二條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第六十三條 教員ニハ土地ノ情況ニ依リ住宅料ヲ給スヘシ

第六十四條 第五十九條及第六十條ニ依リ給スル金額ハ府縣知事ニ於テ管理者ノ意



見ヲ聞キテ之ヲ決定シ第百六十一條乃至第百六十三條ニ依リ給スル金額ハ管理者ニ於テ之ヲ決定スヘシ

第百六十五條 本節ニ規定アルモノヲ除ク外俸給及旅費ノ支給方法ハ判任文官ノ例ニ準シ地方ノ情況ヲ量リ之ヲ定ムヘシ

第百六十六條 第百四十八條ニ掲クル表ニ依リ難キ事情アルトキハ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第百六十七條 本節ニ學校長、教員トアルハ市町村立小學校ノ學校長、教員ヲ謂フ

第五節 代用教員

第百六十八條 市町村小學校代用教員ノ採用、解職及懲戒處分ハ市町村立小學校准教員ノ例ニ依ル

第百六十九條 (削除)

第百七十條 私立小學校代用教員ノ採用解職ニ關シテハ第百三十二條ノ規定ヲ準用ス

第百七十一條 小學校令第四十七條ノ規定並ニ本令第五章第二節ノ規定中准教員ニ關スルモノハ代用教員ニ準用ス

第百七十二條 府縣知事ニ於テ私立小學校代用教員ヲ不適當ト認メタルトキハ之ヲ解職セ

シムルコトヲ得

第百七十三條 市町村立小學校代用教員ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

第六章 授業料

第百七十四條 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徴收セントスルトキハ市ニ在リテハ一箇月二十錢以下、町村又ハ町村學校組合ニ在リテハ一箇月十錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第百七十五條 高等小學校ニ於テ徴收スル授業料ハ市又ハ市町村學校組合ニ在リテハ一箇月六十錢以下、町村又ハ町村學校組合ニ在リテハ一箇月三十錢以下ニ於テ其ノ金額ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受クヘシ

第百七十六條 特別ノ事情アルトキハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ期間ヲ定メテ前二條ノ制限ヲ超ニタル授業料ヲ徴收スルコトヲ得

第百七十七條 小學校補習科ノ授業料額ハ市町村、市町村學校組合又ハ町村學校組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ



第七十八條 小學校ニ於テハ學年ニ依リ授業料額ニ差等ヲ設クルコトヲ得ス

第七十九條 他ノ小學校設置負擔ノ區域ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ第七十四條及第七十五條ノ制限以内ニ於テ授業料額ヲ増スコトヲ得但シ兒童教育事務ヲ委託シタル市町村、町村學校組合又ハ學區ヨリ入學スル兒童ニ就キテハ此ノ限ニアラス

第八十條 貧窮ノ爲授業料ヲ納ムルコト能ハサル者ニ對シテハ管理者ハ授業料ノ全部又ハ一部ヲ免除スヘシ

一家ノ兒童二人以上同時ニ小學校ニ就學スルトキハ管理者ハ授業料額ヲ減スルコトヲ得

第八十一條 本章ノ規定ハ私立小學校ニ關シ之ヲ適用セス

### 第七章 學務委員

第八十二條 市町村、市町村學校組合、町村學校組合並學區ノ學務委員ハ十人以下トス但シ東京市及大阪市ニ在リテハ十五人マテニ増スコトヲ得

第八十三條 學務委員ハ左ニ掲クル事項ニ就キ市町村長、市町村學校組合管理者、町村學校組合管理者、區長並ニ其ノ代理者ヲ補助シ又ハ其ノ諮問ニ應シテ意見ヲ陳述ス

- 一、就學督促ニ關スルコト
- 二、家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修ムル者ノ認可ニ關スルコト
- 三、就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ニ關スルコト
- 四、設備ニ關スルニト
- 五、經費豫算ノ調製ニ關スルコト
- 六、授業料ニ關スルコト
- 七、學校基本財産ニ關スルコト
- 八、教科目ノ加除選定ニ關スルコト
- 九、修業年限ニ關スルコト
- 十、補習科ノ設置廢止ニ關スルコト

第八十四條 公民中ヨリ選舉セラレタル學務委員ノ任期ハ四箇年トス

補闕選舉ニ依リ就任シタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

第八十五條 學務委員ニシテ資格ノ要件ヲ失ヒタル者ハ當然其ノ職ヲ失フ

### 第八章 (削除)

第八十六條乃至第九十四條 (削除)



## 第九章 小學校ニ類スル各種學校

第百九十五條乃至第百八條 (削除)

第百九條 小學校ニ類スル各種學校ニハ學校長ヲ置クコトヲ得

第百十條 小學校ニ類スル各種學校教員ハ小學校教員タルヘキ資格ヲ有スル者又ハ府縣知事ノ免許ヲ得タル者タルヘシ

第百十一條 小學校ニ類スル各種學校ノ學校長及教員ノ採用、解職、懲戒處分、業務停止ハ小學校教員ノ例ニ依ル

市町村立ノ小學校ニ類スル各種學校ノ學校長及教員ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規程ハ府縣知事之ヲ定ム

## 第十章 附 則

第百十二條 本令ハ明治三十三年九月一日ヨリ施行ス但シ第一章中第一節乃至第四節、

第五章中第四節及第五節、第六章、(第八章)ノ規定ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第百十三條 小學校ニ於テ第三十五條ノ規定ニ依リ難キ事情アルトキハ明治三十四年四

月一日ヨリ五箇年間ハ三學級毎ニ本科正教員一人及准教員二人ヲ置クコトヲ得

既設小學校ノ編制ニシテ第三十五條ヲ除ク外第一章第三節ノ規定ニ牴觸スル場合ニ於テ特別ノ事情アルトキハ市町村、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ同節ノ規定ニ依ラサルコトヲ得

第百十四條 既設ノ補習科ニ於テ第一章第四節ノ規定施行ノ際現ニ其ノ教科ヲ學習スル兒童ニ就キテハ其ノ兒童ノ修了スルニ至ルマテ仍從前ノ例ニ依ルコトヲ得

第百十五條 本令施行前府縣知事ニ於テ採定シタル小學校教科用圖書ハ本令施行後仍其ノ効力ヲ有ス

第六十條ノ規定ニ依リ學年開始前公布ヲ爲スヘキ期間ハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年三月三十一日マテハ六十日トス

第百十六條 本令施行前府縣知事ニ於テ定メタル規程ニ依リ編製シタル學齡簿及學籍簿ハ第三章ノ規程ニ依リ編製シタルモノト看做ス

第百十七條 本令施行前ニ授與シタル小學校教員免許狀及之ト同一ノ効力ヲ有スル小學師範學科卒業證書ハ本令ノ規定ニ依ル小學校教員免許狀中之ニ相當スルモノト同一ノ効力ヲ有ス



第二百十八條 本令施行前従前ノ規程ニ依リ休職ヲ命セラレタル教員ノ休職期間ハ仍従前ノ例ニ依ル

七二

第二百十九條 市町村立小學校教員ノ俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關シテハ本令施行ノ日ヨリ明治三十四年三月三十一日マテハ府縣知事ニ於テ定メタル従前ノ規程ニ依ル

第二百二十條 本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ニシテ公民中ヨリ選舉セラレ任期アル者ハ任期ノ滿了マテ其ノ職ヲ失フコトナシ其ノ任期ナキモノハ本令施行ノ日ヨリ第三百八十四條第一項ノ任期ヲ起算ス

本令施行ノ際現ニ學務委員ノ職ニ在ル者ノ數第三百八十二條ニ規定シタル制限ニ超過スルトキハ抽籤ニ依リテ退職者ヲ定ムヘシ

第二百二十一條 (第八章)ノ規定施行ノ際現ニ代用中ノ私立小學校ノ代用ニ關シテハ協議ニ依リ定メタル期間ノ滿了マテ仍従前ノ例ニ依ル

第二百二十二條 既設幼稚園ニシテ第二百六條及第二百八條ノ規定ニ依リ難キトキハ期間ヲ定メ府縣知事ノ認可ヲ受ケ之ニ依ラサルコトヲ得

第二百二十三條 明治二十四年文部省令第九號、同第十四號、同第十六號、同第十八號乃至同第二十三號、明治二十六年文部省令第二號、同第三號、明治二十七年文部省令第一

號、同第九號、明治二十九年文部省令第十號、同第十一號、明治三十二年文部省令第三十號、同第三十二號、同第三十七號ハ之ヲ廢止ス

明治二十七年文部省令第二十六號中補習科ニ關スル規定、明治二十四年文部省令第一號同第四號、同第八號、同第十號乃至同第十三號、明治二十五年文部省令第七號、明治二十六年文部省令第九號、明治三十年文部省令第二號ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ廢止ス

附 則 (明治四十年文部省令第六號)

本令ハ明治四十一年四月一日ヨリ施行ス但シ第二十九條第二項、第三十一條、第四十條、第四十八條、第五十二條、第九十七條、第一百十六條、第一百七十六條、第一百八十三條及第八章ノ改正ハ明治四十年四月一日ヨリ施行ス

明治四十年勅令第五十二號附則第四項ノ教科目ニ關シテハ仍従前ノ例ニ依ル但シ管理者又ハ設立者ニ於テ府縣知事ノ認可ヲ受ケ本令ノ規定ヲ斟酌スルコトヲ得  
地理ノ教授ノ程度ニ關シテハ従前ノ規定ニ依リ編纂シタル教科用圖書ヲ使用スル間ハ仍従前ノ例ニ依ル

本令施行ノ際存在スル補習科ニ關シテハ仍従前ノ例ニ依ルコトヲ得







計	手 工	裁 縫	體 操	唱 歌	圖 畫	理、 科	地 理
二二			四	平易ナル單音 唱歌	簡單ナル 形體		
	簡易ナル細工		遊教體 戲練操				
二三			四	平易ナル單音 唱歌	簡單ナル 形體		
	簡易ナル細工		遊教體 戲練操				
二五			三	平易ナル單音 唱歌	簡單ナル 形體		
	簡易ナル細工		遊教體 戲練操				
二女二男 九七	工簡易ナル細	通針法 縫方衣類	遊教體 戲練操	平易ナル單 唱歌	簡單ナル形 體	植物、動物、 礦物、自然、 常ノ現象、 上ノ物理化學	
	工簡易ナル細	通針法 縫方衣類	遊教體 戲練操	平易ナル單 唱歌	簡單ナル形 體	植物、動物、 礦物、自然、 常ノ現象、 上ノ物理化學	二 日本地理ノ 大要
三女二男 〇八	工簡易ナル細	通針法 縫方衣類	遊教體 戲練操	平易ナル單 唱歌	簡單ナル形 體	植物、動物、 礦物、自然、 常ノ現象、 上ノ物理化學	二
	工簡易ナル細	通針法 縫方衣類	遊教體 戲練操	平易ナル單 唱歌	簡單ナル形 體	植物、動物、 礦物、自然、 常ノ現象、 上ノ物理化學	二 前學年ノ續 他外國其ノ 大要

圖畫ハ第一學年第二學年ニ於テハ每週一時之ヲ課スルコトヲ得  
 手工ハ第一學年第二學年第三學年ニ於テハ每週一時、第四學年第五學年第六學年ニ於テ  
 ハ每週二時之ヲ課スルコトヲ得

第五號表

科目	學年	每週 授時數	第一學年	第二學年	第三學年	第四學年	第五學年	第六學年
修身	二	二	道德ノ要旨	道德ノ要旨	日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ	日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ	日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ	日常須知ノ文字及普通文ノ讀ミ方、書キ
國語	六	六	方、綴リ方	方、綴リ方	方、綴リ方	方、綴リ方	方、綴リ方	方、綴リ方
算術	四	四	整数、小數、分數、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算	比例、歩合算、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算(日用簿記)	比例、歩合算、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算(日用簿記)	比例、歩合算、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算(日用簿記)	比例、歩合算、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算(日用簿記)	比例、歩合算、數ノ代數的計算、幾何圖形、珠算(日用簿記)
國史	二	二	國史ノ大要	前學年ノ續キ				
地理	二	二	外國地理ノ大要	地理ノ補習				
理科	二	二	植物、動物、礦物及自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要	自然ノ現象、通常ノ物理化學上ノ現象、元素及化合物、簡易ナル器械ノ構造、作用、人身生理衛生ノ大要				
圖畫	一	一	簡易ナル形體	簡易ナル形體				
手工	一	一	簡易ナル製作、製圖、手藝	簡易ナル製作、製圖、手藝				
唱歌	一	一	單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)	單音唱歌 (簡易ナル複音唱歌)				



計	裁縫	家事	實業	体操	唱歌	手工	圖畫	理科	地理	國史	算術	男女	
												男	女
三〇九	四	四	二五	三	一	一	一	二	二	二	四	男	女
三〇九	四	四	二五	三	一	一	一	二	二	二	四	男	女
三〇九	五	五	二六	三	一	一	一	二	二	二	四	男	女

第六號表

科目	學年	每週授時數	男女	
			男	女
第一學年	二	二	六	六
第二學年	二	二	六	六
第三學年	二	二	六	六

小學校令第二十條第二項ノ教科目ニ關シテハ本表ノ時數ノ外男兒三時以內、女兒二時以內ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得  
 前項ノ外本表各科目ノ每週教授時數ヲ增加スルコトヲ得但シ每週教授時數ノ合計ハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス  
 實習ニ關シテハ前項ノ教授時數外ニ涉リテ尙之ヲ課スルコトヲ得

計	裁縫	家事	實業	體操	男女	
					男	女
三〇九	四	四	二五	三	男	女
三〇九	四	四	二五	三	男	女
三〇九	四	四	二五	三	男	女



小學校令第二十條第二項ノ教科目ニ關シテハ本表ノ時數ノ外男兒三時以內、女兒二時以內ニ於テ之ヲ課スルコトヲ得  
前項ノ外本表各科目ノ每週教授時數ヲ增加スルコトヲ得但シ每週教授時數ノ合計ハ三十二時ヲ超ユルコトヲ得ス  
實習ニ關シテハ前項ノ教授時數外ニ涉リテ尙之ヲ課スルコトヲ得

第七號表 (明治四十年文部省令第六號ニ因リ消滅)

第八號表 (削除)

第九號表

學 就	氏 名		住 所	生 年 月 日	學 齡 終 日	年 月 日	保 護 者							
	入學シタル學校又ハ教授者氏名	就學シタル年月日					尋常小學校ノ教科ヲ了リタル年月	氏 名	住 所	職 業				

第十號表

考 備	不 就 學			免 除	年 月 日	事 由
	期 間	事 由	年 月 日			

第十號表

學 年	氏 名		住 所	入 學 年 月 日	入 學 前 經 歷	卒 業 年 月 日	退 學 年 月 日	退 學 ノ 事 由	在 學 中 ノ 出 席 及 事 由		身 體 狀 況		備 考
	修 國 算 日 歷 地 理 唱 體 裁	修 了 日 數							缺 席 日 數	發 育 榮 脊 柱	視 力 及 屈 折 狀 態	眼 色 眼 鏡	







前項管理者ノ職務ニ關シテハ府縣知事ノ定ムル所ニ依ル

第四條 本令ノ規定ニ依リ存續シタル學校、幼稚園及兒童教育事務ノ委託ニ關スル費用ハ從來其ノ費用ヲ負擔シタル區域ノ屬スル市町村ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

前項ノ費用ヲ數町村ニ於テ負擔スヘキ場合ニ在リテハ郡長ニ於テ郡參事會ノ意見ヲ聞キ市ト町村トニ於テ負擔スヘキ場合ニ在リテハ府縣知事ニ於テ府縣參事會ノ意見ヲ聞キ其ノ豫算負擔額ヲ定ムヘシ

本令ノ規定ニ依リ存續シタル學校、幼稚園及兒童教育事務ノ委託ニ關スル收入ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第五條 本令ノ規定ハ市町村ノ廢置分合若ハ境界變更ノ爲町村組合、町村學校組合ノ解散スル場合ニ於テ消滅スヘキ學校、幼稚園及兒童教育事務ノ委託ニ關シ之ヲ準用ス

附 則

第六條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七條 本令ハ市制町村制ヲ施行シタル地ニ之ヲ施行ス

●小學校令施行細則

鹿兒島縣令第十二號(明治四十三年三月十五日)

(沿革)明治四十四年三月縣令第一六號、四十五年七月同第三二號、大正二年九月同第四〇號、三年四月同第二五號、

同年九月同第四三號、同年一〇月同第四六號、六年九月同第二八號、七年四月同第一四號、同年一二月

同第四八號、九年一月同第五號、五月同第四四號、八月同第六七號、一〇年四月同第二八號、同年五月

同第三一號改正

第一章 設置及廢止

第二章 教科及編制

第三章 學期休業日及教授時數

第四章 設 備

第五章 就 學

第六章 教員檢定及免許狀

第七章 小學校長教員ノ進退

第八章 小學校長教員ノ職務及服務

第九章 俸給旅費及諸給與

小學校令施行細則



- 第十章 代用教員
  - 第十一章 授業料
  - 第十二章 學區長及其ノ代理者ノ教育事務
  - 第十三章 學務委員
  - 第十四章 小學校ニ類スル各種學校
  - 第十五章 補則
  - 第十六章 附則
- 小學校令施行細則

## 第一章 設置及廢止

- 第一條 小學校令第九條ニ依リ市町村立尋常小學校ノ校數並位置ノ指定ヲ受ケムトスルトキハ市町村長ニ於テ左ノ各號ヲ具シ内申スヘシ
- 一、校數
  - 二、位置(市町村、大字、字、地番、地目、段別)
  - 三、戶數(市町村及學校通學區域別)

- 四、各學校通學區域内學齡兒童男女別數及豫定學級數
  - 五、地質及飲料水ノ性質
  - 六、市町村又ハ市町村學校組合、町村學校組合ノ地圖(各大字、部落ノ區劃、名稱、從來ノ小學校及新ニ指定セムトスル學校ノ位置並通學區域該位置ト通學區域内各部落中央トノ距離、人家聚散ノ狀況其ノ他山川、原野、通路等兒童通學ニ關係アル地形上ノ狀況ヲ記載スヘシ)
  - 七、校地圖(縮尺二百分ノ一トシ方位、坪數、高低、隣地ノ地目、一町以内四圍ノ狀況及校舍ノ配置ヲ記載シ若校地外ニ體操場ヲ設ケムトスルトキハ別ニ本文ニ準シ平面圖ヲ調製シ校地トノ距離ヲ記スヘシ)
- 單ニ校地増減ノ指定ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ内申スヘシ
- 一、事由
  - 二、現在校地ノ段別
  - 三、兒童數
  - 四、増減スヘキ校地ノ市町村、大字、字、地番、地目、段別
  - 五、校地圖(縮尺二百分ノ一トシ方位、現在ノ區域、増減スヘキ區域及其ノ地番、高



低、四圍ノ狀況並建物ノ位置ヲ記載スヘシ

第二條 市町村立尋常小學校ノ校數ヲ指定セラレタルトキハ管理者遲滯ナク其ノ校名及開校期日ヲ定メ知事ニ開申スヘシ

第三條 小學校令第十條第一項ニ依リ町村學校組合ヲ設ケ又ハ組合町村ノ數ヲ増減セムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ内申スヘシ

一、事由

二、關係各町村ノ戶數、學齡兒童男女別數

三、財政一覽表(第一號様式)

四、關係各町村ノ地圖(第一條第一項第六項ノ例ニ依ル)

五、組合ノ規約

第四條 小學校令第八條ニ依リ教育事務ヲ委託スルノ必要アルトキハ左ノ各號ヲ具シ内申スヘシ

一、事由

二、委託セントスル町村學校名

三、委託ノ條款

前項教育事務ノ委託ヲ止ムルノ必要ヲ生シタルトキハ其事由及在學兒童ノ處分方法ヲ具シ内申スヘシ

第五條 (削除)

第六條 小學校令第十二條ニ依リ尋常小學校ノ設置及兒童教育事務委託ニ關スル義務ノ免除ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ知事ニ申告スヘシ

一、義務ノ免除ヲ要スル場所ノ戶數及學齡兒童男女別數

二、當該町村ノ直接國稅及縣稅ノ各總額並一戶負擔額

三、財政一覽表(第一號様式)

四、其ノ町村ト隣町村トノ略地圖(若ハ其ノ町村又ハ町村學校組合地圖第一條第一項

第六號ニ準シ必要ナル部分ヲ記スヘシ)

第七條 (削除)

第八條 小學校令第十五條ニ依リ市町村立高等小學校ヲ設置セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

一、名稱

二、位置(第一條第一項第二號ノ例ニ依ル)



- 三、修業年限
  - 四、市町村又ハ市町村學校組合、町村學校組合内ノ學齡兒童中尋常小學ノ教科ヲ修了シタル兒童男女別數
  - 五、豫定入學兒童男女別數及學級數
  - 六、設置ニ要スル費用
  - 七、財政一覽表(第一號様式)
  - 八、授業料ノ定額及其ノ徵收規定
  - 九、地質及飲料水ノ性質
  - 十、市町村又ハ市町村學校組合、町村學校組合ノ地圖(第一條第一項第六號ノ例ニ依ル)
  - 十一、學校地圖(第一條第一項第七號ノ例ニ依ル)
- 第九條 前條ニ依リ高等小學校設置ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ開校期日ヲ定メ遲滯ナク知事ニ開申スヘシ
- 第十條 小學校令第十六條ニ依リ私立小學校ヲ設置セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ
- 一、名稱

- 二、位置(第一條第一項第二號ノ例ニ依ル)
  - 三、豫定入學兒童男女別及學級數
  - 四、小學校ノ種別及入學退學ニ關スル事項、高等小學校ニ在リテハ其ノ修業年限
  - 五、授業料ノ定額及其ノ徵收規定
  - 六、設置ニ要スル費用及收入支出豫算表
  - 七、維持方法
  - 八、設立者ノ履歷
  - 九、開校期日
  - 十、校地圖(第一條第一項第七號ニ準ス)及校舍平面圖(第三十四條第一項第三號ニ準ス)
- 前項第五號第九號ノ變更ハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ届出テ第四號第七號及設立者ノ變更ハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十一條 市町村立尋常小學校ニ高等小學校ノ教科ヲ併置セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ
- 一、併置スヘキ高等小學ノ修業年限



- 二、尋常小學校學級編制表（第二號表、並高等小學校ノ豫定入學兒童男女別數及學級數）
  - 三、通學區域内ノ學齡兒童中尋常小學校ノ教科ヲ修了シタル兒童男女別數
  - 四、財政一覽表（第一號樣式）
  - 五、授業料ノ定額及其ノ徵收規定
  - 六、校地校舍ノ圖面（校地圖ニハ校地ノ坪數、屋外體操場ノ坪數ヲ記シ校舍圖ニハ各室ノ坪數及其ノ名稱ヲ記スヘシ）
- 第十二條 前條ニ依リ教科併置ノ認可ヲ受ケタルトキハ其ノ開校期日ヲ定メ遲滯ナク知事ニ開申スヘシ
- 第十三條 小學校令第十五條及第十六條ニ依リ學校ヲ廢止セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由、廢止期日及在學兒童ノ處分方法ヲ具スヘシ
- 第十四條 市町村立尋常小學校ニ分教場ヲ設置シ又ハ其ノ位置ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ第一條ノ規定ニ準シ内申スヘシ
- 市町村立尋常小學校分教場ノ廢止ヲ要スルトキハ其ノ事由、廢止期日。在學兒童ノ處分方法ヲ具シ内申スヘシ

- 市町村立高等小學校ニ分教場ヲ設立スルノ必要アルトキハ市町村又ハ市町村學校組合、町村學校組合ニ於テ第八條ノ規定ニ準シ知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ廢止ノ場合ハ本縣第二項ノ規定ニ準シ知事ノ認可ヲ受クヘシ
- 第十五條 分教場設置ノ指定又ハ認可ヲ受ケタルトキハ管理者ハ其ノ名稱及授業開始ノ期日ヲ定メ遲滯ナク知事ニ開申スヘシ
- 第十六條 學校又ハ分教場ノ名稱ヲ變更シタルトキハ管理者又ハ設立者ハ遲滯ナク之ヲ知事ニ開申スヘシ

## 第二章 教科及編制

- 第十七條 小學校令第二十三條第一項ニ依リ教科目ヲ加除セムトスルトキハ隨意科目撰擇科目ノ別ヲ記シ及小學校令施行規則第十九條ニ依リ每週教授時數ヲ變更センカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ各教科目每週教授時數表ヲ添ヘ申請スヘシ
- 第十八條 小學校令第二十三條第二項ニ依リ補習科ヲ設置セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

### 一、事由



二、教科目

三、修業年限

四、一定ノ季節又ハ教授日ヲ選ヒタルトキハ其ノ季節教授日及教授終始ノ時刻並每週教授時數

五、學級編制表(第二號表)

六、校舎平面圖(第三十四條第一項第三條ニ準ス)

七、財政一覽表(第一號樣式)

八、授業料ノ定額及其ノ徵收規定

前項第二號乃至第四號及第八號ヲ變更セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

補習科ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ事由並に在學兒童ノ處分方法ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第十九條 小學校令第二十三條第二項ニ依リ高等小學校ノ修業年限ヲ延長セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

一、事由

二、第三學年豫定兒童男女別數

三、學級編制表(第二號表)

四、財政一覽表(第一號樣式)

五、校舎平面圖(第三十四條第一項第三號ニ準ス)

修業年限ヲ短縮セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第二十條 (削除)

第二十一條 小學校令施行規則第二十九條第二項ニ依リ制限超過ノ學級ヲ編制セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

一、事由

二、(削除)

三、學級編制表(第二號表)

四、財政一覽表(第一號樣式)

五、校舎平面圖(第三十四條第一項第三號ニ準ス)

第二十二條 (削除)

第二十三條 小學校令施行規則第三十四條ニ依リ二部教授ノ編制ヲ爲シタルトキハ市町村



又ハ市町村學校組合、町村學校組合ニ於テ左ノ各號ヲ具シ知事ニ届出ツヘシ

一、事由

二、學級編制表(第二號表)

三、二部教授ヲ爲ス學年及學級

四、擔任教員ノ資格

五、各部各教科目毎週教授時數及教授終始時刻

第二十四條 小學校令施行規則第四十一條ニ依ル學級編制ハ毎年四月末日迄ニ又變更シタルトキハ其ノ都度第二號表ニ依リ届出ツヘシ

第二十五條 小學校令施行規則第二十四條ニ依リ授與スル卒業證書ハ第三號様式ニ依ルヘシ

前項證書ニハ第一期又ハ第二期種痘完了或ハ痘瘡經過年月日ヲ其ノ裏面ニ記入スヘシ

第三章 學期、休業日及教授時數

第二十六條 小學校令施行規則第二十五條第一項ニ依ル學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

小學校令施行規則第二十五條第二項ニ依ル學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル

第二學期 一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル

第三學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

第二十七條 小學校令施行規則第二十七條第三號乃至第六號ノ休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、夏季休業日 八月一日ヨリ同月三十一日ニ至ル

二、冬季休業日 十二月二十五日ヨリ翌年一月七日ニ至ル

三、學年末休業日 三月二十七日ヨリ同月三十一日ニ至ル

四、郷社若ハ産土神例祭 年一日

學校長ハ農繁ノ爲休業日ヲ定ムルノ必要アルトキハ七日以内全部若ハ一部ノ授業ヲ休止

シ又ハ小學校令施行規則第十九條ノ制限内ニ於テ教授時間ノ短縮ヲ爲スコトヲ得

前項ニ依リ休業又ハ教授時間ノ短縮ヲナシタル時ハ其期間日數ヲ具シ知事ニ報告スヘシ



學校長ハ臨時必要アリト認ムルキハ事由ヲ具シ一日以内ハ知事ニ報告シ二日以上ハ知事ノ認可ヲ受ケ休業スルコトヲ得

第二十八條 (削除)

第二十九條 (削除)

#### 第四章 設 備

第三十條 校地校舍體操場ハ學校ノ規模ニ適應スルコトヲ要ス

校地ハ道徳上並衛生上ニ害ナク且兒童ノ通學ニ便利ナル場所ヲ選フヘシ

校舍ハ教授上管理上並衛生上適當ニシテ質朴堅牢ナラムコトヲ要ス

第三十一條 小學校ニハ必要ナル圖書、繪畫、教具、器械、帳簿ヲ備フヘシ

第三十二條 市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ハ成ルヘク教員ノ住宅ヲ設クヘシ

住宅ニハ成ルヘク菜園ヲ備フルコトヲ要ス

第三十三條 市町村立高等小學校及私立小學校ノ校地ヲ選定シ又ハ變更セムトスルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合ニハ設立者ニ於テ左ノ各號ヲ具シ知事ノ認可ヲ

受クヘシ但設置認可ト同時ニ認可ヲ受ケムトスル場合ニ於テハ第八條又ハ第十條ノ規定ニ依リ具シタル事項ハ省略スルコトヲ得

一、位置(第一條第一項第二號ニ準ス)

二、學級編制表(第二號表)

三、將來増加スヘキ豫定學級

四、町村又ハ市町村學校組合、町村學校組合ノ地圖(第一條第一項第六號ニ準ス)

五、校地圖(第一條第一項第七號ニ準ス)

單ニ校地ノ増減ヲ爲サムトスルトキハ前項第二號第三號第五號ノ事項ヲ具シ申請スヘシ

第三十四條 校舍ノ新築、増築又ハ改築セムトスルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ設立者ニ於テ左ノ各號ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

一、前條第一號第二號第三號及第五號ノ事項

二、加設教科目

三、校舍平面圖(縮尺二百分ノ一トシ方位ヲ記シ各室ノ間數、坪數、使用ノ目的、窓、出入口、壁ノ位置及大サ、昇降口ノ間數、坪數、廊下ノ間數及坪數、階段ノ位置、大小便所ノ間數、坪數、校舍ヲ並列シテ建築スル場合ハ各棟ノ距離ヲ記スヘシ)



四、校舍斷面圖（縮尺二十分ノ一トシ建物ノ小屋組及材木仕口、牀ノ高、窓及欄間ノ高、牀面ト天床トノ距離、牀面ト窓トノ距離及出入口ノ高竝採光窓ノ下腰壁ノ高サ等ヲ見得ヘキモノタルヘシ）

五、仕様書及設計書

六、建築費豫算竝其ノ財源（借入金又ハ寄附金ニ依ルトキハ詳細ナル調書ヲ添付スヘシ）

七、財政一覽表（一號様式）

八、着手及竣工ノ期日

前項ノ認可ヲ受ケタル後仕様設計ヲ變更シ又ハ竣工期日ヲ延期セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十五條 前條ノ工事半ニ及ビタルトキハ施工狀況ヲ具シ検査ヲ請求シ竣工シタルトキハ五日以内ニ届出テ検査ヲ受クヘシ

第三十六條 既設ノ建物ヲ校舍ニ充用セムトスルトキハ第三十四條ニ準シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三十七條 假校舍ヲ使用セムトスルトキハ其ノ平面圖、位置及附近ノ狀況、使用期間ヲ

具シ知事ノ認可ヲ受クヘシ其ノ之ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

假校舍使用ノ期間ハ二箇年ヲ超ユルコトヲ得ス

## 第五章 就 學

第三十八條 小學校令施行規則第八十一條第三項但書ニ依ル學齡簿謄本ノ送付ハ第六號様式ニ依ルヘシ

前項ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ其ノ住居ヲ調査シ學齡簿ニ登録ノ手續ヲ爲シ直ニ其ノ旨ヲ送付元市町村長ニ通報スヘシ但未タ轉任ノ届出ヲ爲サ、ル者ニ對シテハ同時ニ届出ノ手續ヲ履行セシム

第三十九條 小學校令施行規則第八十二條第一項及第二項ニ依ル兒童入學期日ノ通知及兒童ヲ入學セシムヘキ尋常小學校ノ指定ハ一月三十一日迄トス但九月開始ノ學年ヲ置キタルトキハ其ノ入學ノ通知及指定ハ七月十日迄トス

小學校令施行規則第八十二條第二項但書ニ依リ兒童ヲ入學セシムトスル尋常小學校ヲ選定シテ市町村長ニ申立ツルトキ又ハ同規則第八十八條ニ依リ其ノ兒童ヲ當然入學セシムヘキ學校以外ノ學校ニ入學セシムカ爲ニスル届出ハ前項期日ノ通知ヲ受ケタル日ヨ



リ七日以内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ  
市町村長ハ學齡兒童ノ其ノ市町村ニ來住シ若ハ其ノ他ノ事由ニ依リ入學義務ヲ生シタル者ニ對シ直ニ第一項ノ通知及指定ヲ及スヘシ

第四十條 小學校令施行規則第八十三條ニ依ル通知ハ其ノ年四月入學セシムヘキ兒童ニ在リテハ三月十日迄ニ九月入學セシムヘキ兒童ニ在リテハ八月十日迄ニ之ヲ爲スヘシ但其ノ通知ニハ兒童ノ生年月日、住所、入學前ノ經歷及保護者氏名、住所、職業、兒童トノ續柄ヲ記スヘシ

第四十一條 小學校令施行規則第八十四條ニ依リ就學義務ノ免除又ハ就學ノ猶豫ヲ申立テムトスルトキハ其ノ年四月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ二月十日迄ニ其ノ年九月ニ於テ就學ノ始期ニ達スヘキ兒童ニ在リテハ七月二十日迄ニ就學期間中ノ兒童ニ在リテハ直ニ之ヲ爲スヘシ

第四十二條 小學校令施行規則第八十四條但書ノ證明書ニハ瘋癲、白痴又ハ不具、癱疾ノ場合ニ在リテハ其ノ就學ニ堪ヘサル現狀、病弱ノ場合ニ在リテハ病名、發病時、現症、豫後、發育不完全ノ場合ニ在リテハ其ノ原因現狀等ヲ記スヘシ

第四十三條 貧窮ノ爲就學ノ猶豫ヲ申立テムトスルトキハ保護者ノ年齢、職業、家族ノ人

員、家族中稼業ニ従事スル能ハサル者ノ數、家族中ノ學齡兒童數（就學不就學ノ數ヲ區別シテ記ス）ヲ具スヘシ

第四十四條 小學校令第三十三條ニ依リ就學義務免除ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ瘋癲、白痴、不具、疾病又ハ發育不完全ノ者ニ在リテハ醫師ノ證明書、病弱ノ者ニ在リテハ第七號表及醫師證明書、貧窮ノ者ニ在リテハ第八號表ヲ添付シ第四十一條ノ申立ヲ受ケタル日ヨリ十日以内ニ稟申スヘシ

小學校令第三十三條第二項ニ依リ就學ヲ猶豫シタルトキハ許可月日ヲ具シ第七號表及第八號表ヲ添付シ之ヲ報告スヘシ

第四十五條 小學校令第三十六條第一項但書ニ依リ家庭又ハ其ノ他ニ於テ尋常小學校ノ教科ヲ修メムトスルトキハ就學ノ場所、教授者ノ氏名經歷ヲ具シ第三十九條第一項ノ期日前之ヲ願出ツヘシ就學ノ場所、教授者ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

第四十六條 小學校令第三十六條第一項但書ノ認可ヲ與ヘ又ハ同施行規則第八十七條ニ依リ其ノ認可ヲ取消シタルトキハ遲滞ナク知事ニ報告スヘシ

第四十七條 小學校長ハ毎月兒童ノ出席缺席ニ就キ第九號表ヲ調製シ翌月五日迄ニ市町村長ニ報告スヘシ



- 市町村長ハ前項ノ報告ニ就キ第十號表ヲ調製シ毎月十日迄ニ知事ニ報告スヘシ
- 第四十八條 小學校令第三十八條ニ依リ兒童ノ出席ヲ停止シタルトキハ遲滯ナク其ノ事由及期間ヲ具シ市町村長ニ報告スヘシ其ノ停止ヲ解キタルトキ亦同シ
- 第四十九條 市町村立小學校長ハ兒童出席督勵簿ヲ備ヘ小學校令施行規則第九十二條ニヨル出席ノ督勵又ハ通知ヲ爲シタル都度其ノ月日ヲ記入スヘシ
- 第五十條 市町村長ハ小學校令施行規則第九十三條第二項ニ依ル督促ハ五日毎ニ之ヲ行ヒ尙就學又ハ出席セシメサルトキハ其ノ旨ヲ知事ニ報告スヘシ
- 第五十一條 市町村長ハ小學校令施行規則第九十三條ノ規定ヲ處理スル爲督促簿ヲ設ケ兒童別ニ保護者ニ督促シタル月日及知事ニ報告シタル月日ヲ記入スヘシ
- 第五十二條 小學校令施行規則第九十五條ニ依ル卒業者ノ通知ハ兒童ノ卒業シタル日ヨリ十日以内ニ之ヲ爲スヘシ
- 第五十三條 市町村長ハ毎年五月十日迄ニ第十二號及第十三號第十四號表ヲ調製シ知事ニ報告スヘシ

## 第六章 教員檢定及免許狀

- 第五十四條 無試驗檢定ハ隨時之ヲ行ヒ試驗檢定ハ毎年五月、十一月臨時之ヲ行フ
- 試驗檢定ノ施行期日、出頭期限及場所ハ其ノ都度之ヲ公告ス
- 第五十五條 一人ニシテ同時ニ二種以上ノ試驗檢定ヲ出願スルコトヲ得ス
- 第五十六條 小學校教員ノ試驗檢定ヲ受ケムトスルモノハ第二十七號乃至第三十一號ノ小學校教員檢定願書ヲ用フヘシ市町村長ハ豫メ前項願書ノ交付ヲ受ケ受験者ニ配付スヘシ
- 無試驗檢定出願ノ場合ハ前項書類ノ外卒業學校長ノ作製シタル卒業當時ノ各學科別成績證明書ヲ添付スヘシ
- 第五十七條 本縣師範學校小學校教員講習科ヲ修了シ又ハ公設小學校教員養成所ヲ卒リタル者ノ試驗檢定ハ當該學校長又ハ養成所長ノ申請ニ依リ之ヲ行フ
- 師範學校長又ハ養成所長ニ於テ前項ニ依リ申請ヲ爲サムトスルトキハ講習生又ハ卒業者ノ氏名、生年月日、原籍及修了試験又ハ卒業試験ノ成績ヲ具スヘシ
- 第五十八條 小學校令施行規則第一百十三條各號ノ一ニ該當スルモノニシテ試驗檢定ヲ受ケムトスルトキハ某科目ノ試験省略ヲ申出ツルコトヲ得
- 第五十九條 無試驗檢定ヲ出願シタル者ニシテ試験ヲ必要ト認メタルトキハ本人ノ志望ニ依リ更ニ願出ヲ要セス次期ノ試験檢定ニ於テ試験ヲ受クルコトヲ得



第六十條 (削除)

第六十一條 小學校教員檢定ヲ出願セムトスル者ハ左ノ種類ニ依リ檢定手数料ヲ納ムヘシ

- 一、正教員 貳圓
- 一、准教員 壹圓

既ニ納付シタル檢定手数料ハ何等ノ事由アルモ之ヲ還付セス但シ願書不備ノ爲メ却下ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第六十二條 免許狀ヲ有スル者ニシテ氏名、生年月日等ニ異動生シタルトキハ其ノ旨屈出ツヘシ

第六十三條 小學校令施行規則第百八條乃至第百十二條ニ依ル小學校教員檢定試験科目中左ノ科目ハ當分之ヲ缺ク但シ本人ノ希望ニ依リ之ヲ行フコトアルヘシ

- 一、小學校本科正教員ハ手工、農業、商業、外國語
- 二、小學校准教員ハ音樂、手工、農業、商業
- 三、尋常小學校准教員ハ音樂

第六十四條 小學校令施行規則第百八條乃至第百十二條ノ試験科目圖書科中自在書ハ受験

者ニ於テ毛筆書又ハ鉛筆書ヲ選定スルコトヲ得外國語ニアリテハ志望ノ外國語ヲ選定クヘシ

第六十五條 檢定ニ關シ不正ノ方法ヲ用ヒタル者アルトキハ其ノ者ノ檢定ヲ停止シ又ハ檢定ヲ無効トシ若ハ免許又ハ證明ヲ取消スコトアルヘシ

第六十六條 試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ其ノ試験ニ合格セサルモ某科目ノ成績佳良ナルトキハ其ノ科目ニ對シ證明書ヲ授與ス

第六十七條 小學校令施行規則第百十七條ニ依リ師範學校ヲ卒業シタル者ニ對シ小學校教員免許狀ノ授與ヲ申請セムトスルトキハ其ノ氏名、生年月日、住所及卒業ノ成績ヲ具スヘシ

第六十八條 免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料トシテ金五十錢ヲ納ムヘシ

第六十九條 小學校教員免許狀及證明書ハ第十七號乃至二十號様式ニ依ル

第七章 小學校長及教員ノ進退

第七十條 小學校令第四十四條ニ依リ市立小學校長及教員ノ任用ヲ申請セムトスルトキハ



職名、氏名、俸給額及勤務ノ種類ヲ具シ甲第十六號書式ノ履歷書及第二十六號様式ノ身體検査書ヲ添付スヘシ其ノ轉任ヲ要スルトキ又同シ但此ノ場合ニ於テハ履歷書身體検査書ノ添付ヲ要セス

所轄外ノ市町村立小學校ニ在職スル教員ノ任用ヲ申請セントスルトキハ所屬長官ノ同意ヲ經ルヲ要ス

第七十一條 市町村立小學校專科正教員ニシテ他ノ市町村立小學校專科正教員ヲ兼ヌル者ノ俸給ヲ關係學校ノ經費ヨリ分割シテ支給セムトスルトキハ其ノ支給方法ヲ具スヘシ

第七十二條 市立小學校教員ノ休職、復職、退職又ハ増俸及減俸ヲ要スルトキハ市長、市町村學校組合管理者ニ於テ其ノ事由ヲ具申スヘシ但不具、廢疾、傷痍ノ場合ニ在リテハ醫師ノ診斷書ヲ減俸ノ場合ニ在リテハ本人ノ減俸承諾書ヲ添付スヘシ  
前項醫師ノ診斷書ハ左ノ各項ヲ詳記スルヲ要ス

一、住所、氏名、生年月日

二、病名

三、原因

四、遺傳歴

五、既往症

六、現在症

七、豫後

其他參考トナルヘキ件(身長、體重、胸圍等)

第七十三條 市町村立小學校本科教員ノ任用、増俸ノ場合ニ於テ明治三十年勅令第二號ノ義務額ヲ通過スルトキハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ノ同意書ヲ專科正教員又ハ補助教授者ノ任用、増俸ノ場合ニ於テハ市參事會、町村長若ハ市町村學校組合管理者、町村學校組合管理者ノ意見書ヲ徵スヘシ但一旦定リタル俸給額以内ナルトキハ此ノ限リニ在ラス

第七十四條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命スルコトアルヘシ

- 一、傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルニ因リ職務ヲ行フニ妨ケアルトキ
- 二、學級編制ノ變更又ハ訴願ノ裁決ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
- 三、教員養成ヲ目的トスル官公立學校ニ入學スルトキ
- 四、名譽職タル町村長及助役ニ當選シタルトキ



五、私立小學校ノ教員又ハ外國ニ於テ本邦人ヲ教育スル爲ニ設置シタル學校ノ教員トナルトキ

六、刑事事件ニ關シ告訴若ハ告發セラレタルトキ

第七十五條 市町村立小學校准教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス

第七十六條 小學校令施行規則第二百二十四條及第二百五條ノ規定ハ市町村立小學校准教員ニ關シ之ヲ準用ス

第七十七條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ退職ヲ命スルコトアルヘシ

一、不具廢疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ

二、痾傷ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其ノ職ニ堪ヘサルニ至リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ退職ヲ

出願シタルトキ

三、校務ノ都合ニ依リ其ノ人ヲ要セサルニ至リタルトキ

第七十八條 市町村立小學校准教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當然退職者トス

一、當該學校ノ廢セラレタルトキ

二、休職期間滿チタルトキ

第七十九條 小學校令施行規則第三百三十二條ニ依リ私立小學校長及教員ノ採用又ハ解職ヲ屈出ツルトキハ市町村長ヲ經由シ採用ノ場合ハ其ノ年月日及履歷書ヲ解職ノ場合ハ其ノ年月日及事由ヲ具シ差出スヘシ

## 第八章 學校長及教員ノ職務、服務

第八十條 學校長ハ教授管理其ノ他校務ニ關スル規定ヲ設ケ知事ニ報告スヘシ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第八十一條 學校長事故アルトキハ上席教員其ノ職務ヲ代理スヘシ

學校長ハ部下ノ教員ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

第八十二條 教員ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ且事務ヲ分擔スヘシ

正教員ハ教授細目ニ依リ教案ヲ作製シ且教授ノ結果ヲ記錄シ學校長ノ檢閲ヲ受クヘシ

第八十三條 教員ハ始業時刻十分以前ニ出勤シ直ニ出勤簿ニ捺印シ終業時刻後其ノ日ノ要務ヲ處理シテ退出スヘシ

第八十四條 市町村立小學校教員左ノ事由ニ依リ出勤シ難キトキハ日數ヲ豫定シ學校ニ届



出ツヘシ

- 一、病氣、傷疾又ハ父母ノ病氣ノ看護
- 二、交通遮斷
- 三、教員檢定試験若ハ教員養成ヲ目的トスル官公立學校等ノ入學試験
- 四、徵兵検査、簡問點呼、教育召集及勤務召集
- 五、官衙公署ノ召喚

前項第一號ノ場合ニ於テハ缺勤日數七日以上ニ及フトキハ七日毎ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

學校長ハ第一項第四號後段又第二項ノ場合ハ知事ニ報告スヘシ

市町村立小學校教員懷妊出産ノ際ハ醫師ノ診斷書ト共ニ缺勤日數ヲ豫定シタル届書ヲ提出シ五十日以内ノ休養ヲ爲スコトヲ得

第八十四條ノ二 市町村立小學校教員死亡シタルトキハ學校長ハ知事ニ報告スヘシ

第八十五條 市町村立小學校教員ハ父母ノ祭日ニハ學校ニ届出テ休暇スルコトヲ得

第八十六條 市町村立小學校教員ニシテ忌服ヲ受クルトキハ其ノ續柄ヲ記シ學校長ニ在リテハ知事其他ノ者ニ在リテハ學校長ニ届出ツヘシ

第八十七條 市町村立小學校長及教員ニシテ任地ヲ離レムトスルトキハ其ノ事由、日數及旅行先ヲ具シ轉地療養ニ在リテハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ知事父母ノ病氣看護ニアリテハ醫師ノ診斷書若ハ證據書類ヲ添ヘ學校長ニアリテハ知事其他ニアリテハ學校長ノ許可ヲ受クヘシ但第八十四條第一項第四、五號ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

市町村立小學校長及教員ニシテ學校休業中居住地ヲ離レムトスルトキハ其ノ旅行地、日數ヲ具シ學校長ハ知事其他ハ學校長ニ届出ツヘシ

第八十八條 市町村立小學校教員ニシテ陸海軍現役ニ服シ若ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル爲出發シタルトキハ知事ニ届出ツヘシ

第八十九條 休職教員ハ左ノ事項ニ就キ知事ニ届出ツヘシ

- 一、教員養成ヲ目的トスル學校ニ入學シタル者ニアリテハ其ノ卒業又ハ退學年月日
- 二、刑事事件ニ關シ告訴又ハ告發セラレタル者ニ在リテハ其ノ事件ノ決定シタル年月日及決定ノ概要

三、陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ニ在リテハ其ノ歸着年月日

四、居住地ヲ離レムトスルトキハ其ノ旅行地及日數



第九十條 初メテ市町村立小學校教員ニ任セラレタル者又ハ轉任ヲ命セラレタル者ハ五日以内ニ出發赴任スヘシ但止ムヲ得サル事情アリ右期限内ニ赴任シ能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ノ許可ヲ受ク可シ

第九十一條 市町村立小學校長ニシテ小學校令施行規則第三百三十七條ニ依リ當該學校所在ノ地域外ニ居住セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ事由、住所及學校トノ距離ヲ具シ申請ス可シ

學校長ニ於テ所屬職員ニ對シ當該學校所在ノ地域外ニ居住ノ認可ヲ爲シタルトキハ其教員月日事由住所及學校トノ距離ヲ具シ報告スヘシ

第九十二條 市町村立小學校長及教員公務ノ爲出張ヲ要スルトキハ管理者ノ同意ヲ得ヘシ市町村立小學校長及教員ノ縣外出張ハ知事ノ命ヲ受クヘシ

第九十三條 教員ニシテ出勤セサルトキハ擔任ノ教授及事務ニ關スル要件ヲ具シ學校ニ差出スヘシ

第九十四條 市町村立小學校長ハ每學期末ニ全學期分ノ勤怠表ヲ調製シ知事ニ報告スヘシ第九十五條 學校長及職員ニシテ小學校令施行規則第三百三十八條ニ依リ認可ヲ受ケムトスルトキハ其ノ業務ノ種類、場所、給料額ヲ具シ申請スヘシ

第九十六條 市町村立小學校長、教員ニシテ轉任、休職、退職、免職、失職セルトキハ引繼目錄及演述書ヲ作り教員ニアリテハ學校長著ハ其ノ指定スル教員ニ引繼クヘシ小學校長ニ在リテハ後任者ニ引繼キ引繼ヲ受クヘキ者ナキトキハ管理者ニ引繼クヘシ第九十七條 教員ニシテ本籍及氏名ニ異動ヲ生シタルトキハ知事ニ届出ツヘシ

### 第九章 俸給旅費及諸給與

第九十八條 教員ノ月俸額ハ第二十一號表ニ依ル但島嶼ニ在勤スル教員ニハ等級相當ノ金額ニ拾圓以内ヲ増スコトアルヘシ

第九十九條 一級上俸ヲ受ケ功勞アル者ニハ本科正教員ニ在リテハ貳百四拾圓マテ專科正教員ニ在リテハ百六拾圓マテ漸次増給スルコトアルヘシ

第一百條 教員ノ俸給ハ當分ノ内等級相當ノ額ヲ減シテ之ヲ支給スルコトアルヘシ  
第一百一條 專科正教員ニシテ他ノ小學校ノ專科正教員ヲ兼ヌル者ニハ關係小學校ノ經費ヨリ其ノ俸給ヲ分割シテ給スルコトアルヘシ

第一百二條 一定ノ季節ヲ選ヒテ教授ヲ爲ス補習科ノ教授ヲ專ラ擔任スル教員ニハ教授ヲ爲ス月ニ限り俸給ヲ給スルコトアルヘシ



第百三條 教員ノ俸給ハ其ノ意ニ反シテ之ヲ減スルコトナシ

第百四條 退職者ニハ其ノ退職中俸給ノ三分ノ一ヲ給ス

但市町村、市町村學校組合、町村學校組合町村學校組合又ハ其ノ學區ニ於テ特別ノ事情アル場合ハ第七十四條第三號乃至第五號及小學令施行規則第百二十二條第三號乃至第五號ニ該當スル者ニ對シテハ之ヲ給セサルコトアルヘシ

第百五條 教員ニシテ在職ノ儘小學校教員講習科ニ入學スル者ニハ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ノ意見ヲ聞キ俸給ノ一部若ハ全部ヲ給ス

第百六條 教員ニシテ陸軍給與令又ハ海軍軍人俸給令ニ依リ俸給ヲ受クル者ニハ其ノ間俸給ヲ給セス其ノ額本職ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給ス

徵兵令第十三條第三項ニ依リ六週間現役ニ服スル者ニハ服役中俸給全額ヲ給ス

第百七條 教員ノ俸給ハ新任、轉任、退職、増俸、減俸トモ總テ發令ノ翌日ヨリ計算ス

第百八條 教員ニシテ退職ヲ命セラレ俸給ヲ給セサル者退職及死亡ノトキハ當月分ノ俸給全額ヲ給ス

第百九條 教員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ當月分ノ俸給ハ日割ヲ以テ之ヲ給ス

一、懲戒ニ依リ免職ニ處セラレタルトキ

二、免許狀褫奪又ハ免許狀ノ失效ニ因リ教員ノ職ヲ失ヒタルトキ

第百十條 教員死亡シタルトキハ其ノ在職中ト退職中トニ係ハラズ在職最終ノ月俸四箇月分ヲ其ノ遺族ニ給ス

第百十一條 左ノ各項ニ該當スルモノハ俸給ノ半額ヲ減ス但シ職務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ忌服ヲ受クル者又賜暇休養スル者其他法令又ハ法令ニ基ク處分ニ依リ職務セサル者ハ此限ニ在ラス

一、病氣ノ爲職務セサルコト六十日ヲ踰ユル者

二、懷妊出產ノ爲職務セサルコト九十日ヲ踰ユル者

三、其他ノ事故ニ依リ職務セサルコト二十日ヲ踰ユル者

前項但書ノ事實カ前項本文ノ事實中ニ介在スル場合ハ前項本文ノ職務セサル日數ニ通算ス

第百十二條 俸給ハ毎月二十二日之ヲ給ス休日ニ當ルトキハ繰下トス

第百十三條 俸給ノ日割計算ハ其ノ月ノ現日數ニ依ル但仕拂額ノ錢位未滿ノ端數ハ切捨トス

第百十四條 教員公務ノ爲出張スル旅費額ハ第二十二號表ニ依ル



第一百五條 旅費ノ支給方法ニ關シテハ鹿兒島縣旅費支給規則ヲ準用ス

第十六條 修學旅行ノ場合ニ於ケル旅費額ハ管理者ニ於テ知事ノ認可ヲ得テ之ヲ定ムヘシ

第十七條 教員ニシテ一週間ニ三十二時ヲ超ヘ教授ヲ擔任スル者ニハ手當ヲ給ス

第十八條 學校長教員ニシテ特ニ勤勞アル者ニハ慰勞金ヲ給スルコトアルヘシ

第十九條 前二條ニ該當スル者アルトキハ學校長ニ於テ支出ニ關スル管理者ノ意見書ヲ添ヘ其ノ事由ヲ具シ知事ニ内申スヘシ

第二十條 教員ニシテ宿直スル者ニハ賄料ヲ給スヘシ

第二十一條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷痕ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタル者ニハ療治料ヲ給スヘシ

第二十二條 教員ニハ可成住宅料ヲ給スヘシ但教員住宅ノ備アル者又ハ自宅ヨリ通勤スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條 前三條ニ依リ給スル金額ハ管理者之ヲ定メ知事ニ報告スヘシ

第二十四條 手當及住宅料ノ支給方法ハ俸給支給ノ例ニ依ル

第二十五條 本章ノ規定ハ私立小學校ニ關シ之ヲ適用セス

## 第十章 代用教員

第二十六條 (削除)

第二十七條 代用教員ノ俸給ハ六圓以上トス但教授時數ニ應シ六圓以下ニ下スコトヲ得代用教員ノ旅費額ハ准教員ノ例ニ依ル

第二十八條 代用教員ノ俸給其ノ他諸給與ニ關シテハ第二百二條第三百三條第三百五條乃至第三百十三條第一百五條乃至第一百八條第二百二十條乃至第二百二十四條ヲ準用ス

第二十九條 (削除)

第三十條 本章ノ規定ハ私立小學校ニ關シ之ヲ適用セス

## 第十一章 授業料

第三十一條 小學校令第五十七條第二項及小學校令施行規則第七十四條第七十六條ニ依リ授業料徴收ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ但其ノ期限ハ三箇年以内トス

### 一、事由



- 二、期限
  - 三、授業料徴收ノ方法
  - 四、財政一覽表(第一號様式)
  - 五、授業料徴收ニ關スル市町村又ハ市町村學校組合會、町村學校組合會決議録ノ要領
- 第三百三十二條 (削除)

### 第十二章 學區長及其ノ代理者ノ教育事務

第三百三十三條 市町村、市町村學校組合、町村學校組合ノ學區長及其ノ代理者ハ市町村長又ハ市町村學校組合管理者、町村學校組合管理者ノ命令ヲ受ケ學區ニ關スル國ノ教育事務ヲ補助執行スベシ

### 第十三章 學務委員

第三百三十四條 市町村長、市町村學校組合管理者、町村學校組合管理者ハ毎月一回以上學務委員會ヲ開クヘシ

第三百三十五條 學務委員ハ毎月一回以上其ノ市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ

其ノ學區内各小學校ニ巡視シ兒童ノ出席設備其ノ他視察ノ要領ヲ市町村長、市町村學校組合管理者町村學校組合管理者ニ報告スヘシ

第三百三十六條 市町村、市町村學校組合、町村學校組合又ハ學區ニ於テ學務委員ヲ選任シタルトキハ其ノ月日、氏名及履歷ノ大要ヲ具シ監督官廳ニ報告スヘシ

### 第十四章 小學校ニ類スル各種學校

第三百三十七條 小學校令第十七條ニ依リ小學校ニ類スル各種學校ヲ設置セムカ爲認可ヲ受ケムトスルトキハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

- 一、名稱
- 二、位置(第一條第一項第二號ノ例ニ依ル)
- 三、職員ノ定員及俸給額
- 四、學則
- 五、收入支出豫算表
- 六、維持ノ方法(私立ニ限ル)
- 七、敷地建物ノ圖面(第十一條第六號ノ例ニ依ル)



八、設立者履歷書(私立ニ限ル)

前項第一號第二號第四號ノ變更ハ之ヲ知事ニ届出第六號及設立者ノ變更ハ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第三百三十八條 (削除)

第三百三十九條 小學校ニ類スル各種學校ニハ左ノ各號ヲ規定スヘシ

- 一、修業年限、學年、學期、教授ノ終始時刻、休業日ニ關スル事項
  - 二、生徒定員ニ關スル事項
  - 三、學科課程、教授時數ニ關スル事項
  - 四、課程ノ修了及卒業ノ認定ニ關スル事項
  - 五、生徒ノ入學、退學、賞罰ニ關スル事項
  - 六、授業料ニ關スル事項
  - 七、寄宿舍ニ關スル事項
  - 九、職員職務ニ關スル事項
- 第四百十條 小學校ニ類スル各種學校ノ位置選定及建物ノ新築、改築増築等ハ第三十三條及第三十四條ノ規定ヲ準用ス

第四百十一條 小學校ニ類スル各種學校ノ設置ノ認可ヲ受ケタルトキハ認可後遲滞ナク授業ノ開始期日ヲ定メ知事ニ報告スヘシ

第四百十二條 小學校ニ類スル各種學校ヲ合併又ハ分離セムトスルトキハ設置ノ手續ニ準シ知事ノ認可ヲ受クヘシ

第四百十三條 小學校令第十七條ニ依リ小學校ニ類スル各種學校ヲ廢止セムカ爲其ノ認可ヲ受ケ又ハ届出テムトスルトキハ其ノ事由廢止、期日及在學兒童ノ處分方法ヲ具スヘシ

第四百十四條 (削除)

第四百十五條 (削除)

第四百十六條 (削除)

第四百十七條 (削除)

第四百十八條 (削除)

第四百十九條 (削除)

第四百五十條 (削除)

第四百五十一條 (削除)

第四百五十二條 (削除)



第一百五十三條 (削除)

第一百五十四條 (削除)

第一百五十五條 小學校ニ類スル各種學校ノ學校長及教員ノ採用又ハ解職ニ關シテハ市町村立ニアリテハ第七十條第七十二條ノ規定ヲ準用シ私立ニ在リテハ第七十九條ノ規定ヲ準用ス

第一百五十六條 小學校ニ類スル各種學校職員ノ俸給旅費及諸給與支給方法ハ小學校ノ例ニ依ル

### 第十五章 補則

第一百五十七條 教員ニシテ本細則ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ハ別段ノ規定アルモノ、外總テ學校長ヲ經由スヘシ

第一百五十八條 本細則ニ依リ知事ニ提出スヘキ書類ノ進達ハ特殊ノ事由アルモノ、外總テ市町村長、市町村學校組合管理者ヲ經由スヘシ

### 第十六章 附則

第一百五十九條 本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一百六十條 本令施行ノ際十級俸ヲ受クル本科正教員六級俸ヲ受クル准教員ニシテ別ニ辭令ヲ受ケサルモノハ現ニ受クル等級相當金額ノ月俸ヲ受クルモノトス

第一百六十一條 本令ハ第一章第十二章ヲ除ク外大島郡ニモ之ヲ適用ス  
○大正七年四月縣令第十四號附則

本令施行ノ際辭令ヲ交付セサル者ハ現ニ受クル等級ニ相當スル等級ノ金額ヲ給セラル、モノトス

本令施行ノ際現ニ休職中ノ者ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル

### 第一號様式

財政一覽表		歳入	歳出	備考
豫算科目	經常費	、、、	、、、	地價割課率及戸別割課率其他課税ノ課率ヲ附記スベシ
	臨時費	、、、	、、、	同上
教育費	經常費	、、、	、、、	
	臨時費	、、、	、、、	何學校増築費又ハ何々費







卒業證書

校印

氏

生年月日 名

尋常小學校「高等小學校(修學年限)何箇年」ノ教科ヲ卒業セシコトヲ證ス

年 月 日

縣郡市(私立)何尋常(高等)(尋常高等)小學校長 氏

名 印

番 號

第四號樣式 (削除) 第五號樣式 (削除)  
第六號樣式

(甲)		學齡兒童送籍	
番 號	兒 童 氏 名	保 護 者 氏 名	送 付 先
・	・	・	・
送付年月日	送付ノ事由	送	付
・	・	・	・
・	・	・	・

(乙)		役 所 場	
兒 童 氏 名	保 護 者 氏 名	印	役 所 場
・	・	・	・
・	・	・	・

右兒童學齡簿へ登録候條此段及通報候也

年 月 日

何市町村長 印

何市町村長殿

備考 (甲)ハ送付者ニ於テ留置キ(乙)ヲ學齡簿謄本ニ添付シテ轉住先市町村長ニ送付シ  
其ノ送付ヲ受ケタル市町村長ハ學齡簿へ登録濟ノ上送付元ニ返送スルモノトス

第七號表

病弱者調

保護者住	同 上	保護者ト兒何某何男(女)兒童ノ生學年又ハ	病 名	發 病 年 月 日	現 症 及 後
所 職 業 氏 名	童トノ關係兒 童 氏 名	年 月 日 不 就 學	年 月 日	年 月 日	後
・	・	・	・	・	・



第八號表

貧弱者調

保護者同 職業所氏 年氏	上兒 名氏	兒童ノ 生年月日	學年又ハ 不就學別	家族人 員男女	同上稼業ニ 從事スル事 能ハサル人 及男女別	同上學齡兒童 就學兒童 不就學兒 童男女別	戶別割 等級	同上 負擔額
--------------------	----------	-------------	--------------	------------	---------------------------------	--------------------------------	-----------	-----------

第九號表

明治何年  
何月未何尋常(高等)小學校兒童出席調

末日在學 兒童數	無缺席 兒童數	皆缺席 兒童數	兒童出 席延日 數	兒童出 席延日 數	日々出 席兒童 平均數	日々缺 席兒童 平均數	遲刻 度數	早退 度數	出席 百分比	授業日數 最多 最少
-------------	------------	------------	-----------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------	----------	-----------	------------------

備考 一、日々出席兒童平均數ハ一箇月中ノ日々出席兒童數ヲ通算シ一箇月内ニ於ケル  
總授業日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ

- 二、日々缺席兒童平均數ハ一箇月中ノ日々缺席兒童數ヲ通算シ一箇月内ニ於ケル  
總授業日數ヲ以テ除シタル數ヲ掲クヘシ
- 三、出席百分比ハ日々出席兒童平均數ニ缺席兒童平均トノ和ヲ以テ日々出席兒童平  
均數ノ百倍ヲ除シタル數ヲ掲クヘシ
- 四、同學校ニ於テ授業日數ヲ異ニスルモノアルトキニハ各別ニ日々出席兒童平均  
數ヲ算出シテ其ノ合計ヲ該學校ノ日々出席兒童平均數トシ備考欄ニ第何學年  
總兒童數何人授業日數何日ト附記スヘシ日々缺席兒童平均數ノ算出方亦同  
シ
- 五、計算ハ單位二位ニ止メ四捨五入スヘシ
- 六、本表ハ尋常小學校ト高等小學校トヲ製調スヘシ

第十號表

明治何年  
何月未何郡何村(市)立各尋常(高等)小學校兒童出席缺席調

學校名	末日在 學兒童 數	無缺席 兒童數	皆缺席 兒童數	兒童出 席延日 數	日々出 席兒童 平均數	日々缺 席兒童 平均數	遲刻 度數	早退 度數	出席 百分比	授業日數 最多 最少
-----	-----------------	------------	------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------	----------	-----------	------------------







尋 准 成 績 表 第 回

小學校令施行細則

氏名		受験地		番 號	
科 目	證 明 年 月	證 明 書 番 號	点 數		
國 語	講 義	×	×		
	作 文	×	×		
	習 字	×	×		
	平 均	×	×		
修 身	×	×			
教 育	×	×			
算 術	×	×			
地 理	×	×			
歷 史	×	×			
理 科	×	×			
体 操	×	×			
圖 畫	×	×			
總 計		判 定	免 許 狀	第	號
平 均			證 明 書	第	號

一三五

尋 常 小 學 校 教 員 檢 定 願 第 回

第十五號樣式

性 別	※	氏 名	※	受 驗 地	※
生 年 月 日	※	生 年 月 日	※	受 驗 番 號	
出 生 年 月 日	※				
本 籍 地	※				
現 在 所	※				
本 學 業 校	※	卒 年 月	※	年 月	
職 名	※				
手 領 收 印					
身 體 檢 査					
市 町 村 長 身 元 證 明	本出願者ノ本籍生年月日相違無之且小學校令施行規則第四百條ノ各號ニ該當スル者ニ無之コトヲ證明ス 大正 年 月 日				

小學校令施行細則

一三四

◎本票ハ折ルヘカラズ

- ◎ 〇※印アル欄ノ外記入ヲ要セズ
- 注 〇性別ハ男子ハ男 女子ハ女ト記入スベシ
- 意 〇氏名生年月日ハ戸籍面ト相違セザル様注意スベシ
- 〇受験地ハ其郡市名ヲ記入スベシ
- 〇卒業學校ハ最終卒業ノ學校名
- 〇職名ハ現ニ教員タルモノニ限ル

- 〇既得ノ證明科目ハ裏面成績表中其科目ノ年月欄ニ證明書ノ年月及本縣以外ニテ受ケタルモノハ道廳府縣名ヲ肩書シ番號欄ニ其番號ヲ記入スベシ
- (第三十一號書式)







尋正成績表 第 回

氏名	科目	受験地		證明年 月	證明番號	點數
		姓	名			
	修身	*	*			
	教 育	*	*			
	算 術	*	*			
	地 理	*	*			
	歷 史	*	*			
	圖 畫	*	*			
國 語	講 讀	*	*			
	作 文	*	*			
	習 字	*	*			
理 科	平 均	*	*			
	博 物	*	*			
	理 化	*	*			
體 操	平 均	*	*			
	學 科					
	實 地					
裁 縫	平 均	*	*			
	學 科					
	實 地					
總 計	平 均	實地授業	判 定	免 許 狀	證 明 書	
				第 號	第 號	號

小學校令施行細則

尋常小學校本科正教員檢定願 第 回

性 別	性 別	氏 名	受 験 地
生 年 月 日	生 年 月 日	受 験 番 號	
出 生 年 月 日			
本 籍			
現 住 所			
卒 業 學 校	本 年 業 月	年 月	
職 名			
手 領 數 收 料 印			
身 體 檢 査			
市 町 村 長 身 元 證 明	本出願者ノ本籍生年月日相違無之且小學校令施行規則第四百條ノ各號ニ該當スル者ニ無之コトヲ證明ス 昭和 年 月 日		

小學校令施行細則

◎本票ハ折ルヘカラス

- ◎ 〇\*印アル欄ノ外記入ヲ要セズ
- ◎ 性別ハ男子ハ男 女子ハ女ト記入スベシ
- ◎ 氏名生年月日ハ戶籍面ト相違セザル様注意スヘシ
- ◎ 受験地ハ其郡市名ヲ記入スヘシ
- ◎ 卒業學校ハ最終卒業ノ學校名
- ◎ 職名ハ現ニ教員タルモノニ限ル
- ◎ 既得ノ證明科目ハ裏面成績表中其科目ノ年月欄ニ證明書ノ年月及本縣以外ニテ受ケタルモノハ道廳府縣名ヲ肩書シ番號欄ニ其番號ヲ記入スヘシ (第二十八號書式)



小 正 成 績 表 第 回

氏名	受驗地			科目	番 號		
	證明	年月	點數		證明	年月	點數
修身				習字			
博物				法制經濟			
地理	日 外			圖 幾 何			
	地 文				自 在		
理 平 均				書 平 均			
歷史	日本史			音 理 論			
	東西史				實 地		
史 平 均				樂 平 均			
物理及化學	物 理			體 理 論			
	化 學				實 地		
物 理 及 化 學 平 均				操 平 均			
教 育 史	教 育 史			國 語 及 漢 文	國 語 講 義		
	心 論				作 文		
教 育 管 理 平 均				漢 文			
算 術	算 術			裁 理 論			
	幾 何				實 地		
代 數				縫 下 均			
簿 記				家 事			
學 平 均				總 計			
判定				免 許 狀	第	號	
證明書				第	號		

◎注 意  
 日 外 日 本 地 理 外 國 地 理  
 東 西 東 洋 史 西 洋 史  
 心 論 心 理 論 理  
 教 育 管 理 教 育 學 管 理 法 教 授 法  
 國 語 漢 文 漢 文 漢 文

小學校令施行規則

小 學 校 本 科 正 教 員 檢 定 願 第 回

性 別	氏 名	受 驗 地
生 年 月 日	年 月 日	受 驗 番 號
出 生 日 期		
本 籍 地		
現 住 所		
卒 業 學 校 名	卒 業 年 月	年 月
職 名		
身 體 檢 査		
市 町 村 長 身 元 證 明	本出願者ノ本籍生年月日相違無之且小學校令施行規則第百四條ノ各號ニ該當スル者ニ無之コトヲ證明ス 昭和 年 月 日	

小學校令施行規則

◎本票ハ折ルヘカラス

- ◎印アリ欄ノ外記入ヲ要セス
- ◎性別ハ男子ハ男 女子ハ女ト記入スヘシ
- ◎氏名生年月日ハ戸籍面ト相違セサルヲ注意スヘシ
- ◎受驗地ハ其都市名ヲ記入スヘシ
- ◎卒業學校ハ最終卒業ノ學校名
- ◎職名ハ現ニ教員タルモノニ限ル (第二十七號書式)
- ◎既得ノ證明科目ハ裏面成績表中其科目ノ年月欄ニ證明書ノ年月及本縣以外ニテ受ケタルモノハ道廳府縣名ヲ用書スヘシ
- ◎中學校卒業者ニシテ在學中法制經濟ヲ學習シタル者ハ裏面成績表中同科目ノ證明年月欄ニ斜線ヲ引クヘシ



小 准 成 績 表 第 回

氏名			受験地		番 號	
科 目	註 明		年	月	點	數
修 身	※					
教 育	※					
算 術	※					
地 理	※					
歷 史	※					
理 科	※					
体 操	※					
裁 縫	※					
國 語	講 讀	※				
	作 文	※				
	習 字	※				
圖 畫	平 均	※				
	自 在 畫	※				
	幾 何 畫	※				
	平 均	※				
總 計	平 均	判 定	免 許 狀	註 明 書		
			第 號	第 號		

第三十號様式

小學校准教員檢定願 第 回

性 別	※	氏 名	※	受 験 地	※
生 年 月 日	※	年	月	日	受 験 番 號
出 願 日					
本 籍 現 住 所	※				
卒 業 校 名	※	卒 年	※	年	月
職 名	※				
手 續 料					
身 体 檢 査					
市 町 村 長 身 元 註 明	本出願者ノ本籍生年月日相違無之且小學校令施行規則第百四條ノ各號ニ該當スル者ニ無之コトヲ証明ス 昭 和 年 月 日				

◎本票ハ折ルヘカラズ

- ◎ 注意
- 印アル欄ノ外記入ヲ要セス
  - 性別ハ男子ハ男 女子ハ女ト記入スヘシ
  - 氏名生年月日ハ戸籍面ト相違セザル様注意スベシ
  - 受験地ハ其郡市名ヲ記入スベシ
  - 卒業學校ハ最終卒業ノ學校名
  - 既得ノ証明科目ハ裏面成績表中其科目ノ年月欄ニ証明書ノ年月及本籍以外ニテ受ケタルモノハ道廳府縣名ヲ肩書スベシ
  - 職名ハ現ニ教員タルモノニ限ル
- (第三十號書式)



乙第十六號書式

小學校令施行規則

全	全	全	全	全	全	全	全	全	年月日	年月日
										任免增俸
										俸給
許 免 業 學										
全	全	全	全	全	全	全	全	全	年月日	族縣 籍 郡市
										町村
										番戶
										名
										年月日生

小學校令施行規則

全	全	全	全	全	全	全	全	年月日	全	全
										任免增俸
										俸給
俸 加				全	全	全	全	年月日	狀	
全	全	全	年月日						全	全
										任免增俸
										俸給



全	全	全	全
賞		罰	
全	全	全	全

第十七號様式

(師範學校卒業生ニ與フル免許狀)

小學校教員免許狀

・何學校卒業生

氏

名

生年月日

右ハ小學校本科正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

割印

番 號

鹿兒島縣知事位勳爵

氏

名 印

第十八號様式

(師範學校卒業生以外ノ正教員ニ與フル免許狀)

小學校教員免許狀

何科目 何科目  
何科目 何科目  
・ 科目  
・

氏

名

生年月日

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ(尋常)小學校本科(專科)正教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

割印

番 號

鹿兒島縣知事位勳爵

氏

名 印

第十九號様式

(准教員ニ與フル免許狀)

小學校教員免許狀



何科目  
何科目  
何科目

氏名

生年月日

右ハ前記ノ科目ニ就キ檢定シ(尋常)小學校准教員タルコトヲ免許ス

年 月 日

割印

鹿兒島縣知事位勳爵 氏

名印

番 號

第二十號様式

證明書

(尋常)小學校(本科)正教員(准教員)受験者

何科目 何科目 氏名

明治何年何月施行ノ小學校教員檢定試驗ニ於テ前記ノ科目ハ其ノ成績佳良ナリ依テ之ヲ

證明ス

年 月 日

鹿 兒 島 縣 印

番 號

第二十一號表

職 名	本科正教員		專科正教員		准 教 員	
	上	下	上	下	上	下
一級	百拾圓	百拾圓	百拾圓	百拾圓	六拾圓	五拾五圓
二級	百拾圓	百拾圓	百圓	九拾圓	五拾圓	四拾五圓
三級	百拾圓	百拾圓	八拾圓	七拾五圓	四拾圓	三拾五圓
四級	百圓	九拾圓	七拾圓	六拾五圓	三拾五圓	三拾圓
五級	八拾五圓	八拾圓	六拾圓	五拾五圓		
六級	七拾五圓	七拾圓	五拾圓	四拾五圓		
七級	六拾五圓	六拾圓	四拾圓	三拾五圓		
八級	五拾五圓	五拾圓				
九級	四拾五圓	四拾圓				

第二十二號表

小學校令施行規則



種別	汽車賃	船賃	車馬賃	宿泊料	日當	食卓料	正教員		准員	
							月俸七拾圓以上	月俸七拾圓未満	月俸七拾圓以上	月俸七拾圓未満
奏任待遇者	壹等ノ運賃	同上	縣内五拾錢 縣外九拾錢	參圓五拾錢 貳圓五拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	同上	同上	同上	同上
月俸七拾圓以上	貳等ノ運賃	同上	縣内三拾六錢 縣外七拾五錢	貳圓八拾錢 貳圓八拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	同上	同上	同上	同上
月俸七拾圓未満	貳等ノ運賃	同上	縣内三拾錢 縣外七拾五錢	貳圓八拾錢 貳圓八拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	貳圓五拾錢 貳圓五拾錢	同上	同上	同上	同上
二等ノ運賃	同上	同上	縣内參拾錢 縣外六拾錢	圓壹圓五拾錢 圓壹圓五拾錢	圓壹圓五拾錢 圓壹圓五拾錢	圓壹圓五拾錢 圓壹圓五拾錢	同上	同上	同上	同上

一、郡内旅行ニ對シテハ宿泊料金五拾錢日當金四拾錢ヲ減額ス

赴任手當

縣外 日當五日分

宿泊料五夜分

縣内 日當三日分

宿泊料三夜分

移轉料

縣外

一、奏任待遇者 百哩以内四拾圓 (以上十哩ヲ増ス毎ニ壹圓ヲ加算ス)

一、月俸七拾圓 同上 (但五百拾圓ヲ超ユルコトヲ得ス)

同上 (但百圓ヲ超ユルコトヲ得ス)

一、月俸七拾圓 同上 貳拾圓 (同上) (但七拾圓ヲ超ユルコトヲ得ス)

未滿ノモノ

一、准教員 同上 拾五圓 (同上) (但五拾圓ヲ超ユルコトヲ得ス)

家族移轉料

家族一人毎ニ舊任地又ハ本人居住地ヨリ新任地ニ至ル本人相當ノ汽車賃、船賃、車馬賃、日當宿泊料、食卓料ノ金額及赴任手當ノ三分ノ二ニ該當スル金額、但十二歳未滿ノ家族ニ就テハ其ノ半額、家族ノ數三人ヲ超過スルトキハ其ノ超過スルモノニツキ支給スル家族移轉料ハ前項ノ規定ニヨル給額ノ半額トス

第二十三號様式、第二十五様式 (削除)

第二十五號様式



### ●小學校教員心得

(明一四、達一九)

小學教員ノ良否ハ普通教育ノ弛張ニ關シ普通教育ノ弛張ハ國家ノ隆替ニ係ル其任タル重且大ナリト謂フヘシ今夫小學教員其人ヲ得テ普通教育ノ目的ヲ達シ人々ヲシテ身ヲ修メ業ニ就カシムルニアラスンハ何ニ由テカ歟

王愛國ノ志氣ヲ振起シ風俗ヲシテ淳美ナラシメ民生ヲシテ富厚ナラシメ以テ國家ノ安寧福祉ヲ増進スルヲ得ンヤ小學教員タル者宜ク深ク此意ヲ體スヘキナリ因テ其恪守實踐スヘキ要欸ヲ左ニ揭示ス苟モ小學教員ノ職ニ在ル者夙夜匪懈服膺シテ忽忘スルコト勿レ

一 人ヲ導キテ良善ナラシムルハ多識ナラシムルニ比スレハ更ニ緊要ナリトス故ニ教員タル者ハ殊ニ道德ノ教育ニ力ヲ用ヒ生徒ヲシテ

皇室ニ忠ニシテ國家ヲ愛シ父母ニ孝ニシテ長上ヲ敬シ朋友ニ信ニシテ卑幼ヲ慈シ及自己ヲ重ニスル等凡テ人倫ノ大道ニ通曉セシメ且常ニ己カ身ヲ以テ之カ模範トナリ生徒ヲシテ德性ニ薰染シ善行ニ感化セシメンコトヲ務ムヘレ

一 智心教育ノ目的ハ專ラ人々ヲシテ智識ヲ廣メ材能ヲ長シ以テ其本分ヲ盡スニ適當ナラシムルニ在リ豈徒ニ聲名ヲ博取シ奇功ヲ貪求セシノンカ爲メナランヤ故ニ教員タ

ル者ハ宜ク此旨ヲ體認シ以テ生徒智心上ノ教育ニ從事スヘシ

一 身體教育ハ獨リ體操ノミニ依著スヘカラス宜ク常ニ校舍ヲ清潔ニシ光線溫度ノ適宜及大氣ノ流通ニ留意シ又生徒ノ健康ヲ害スヘキ癖習ニ汚染スル等ヲ豫防シ以テ之ニ從事スヘシ

一 鄙吝ノ心志陋劣ノ思想ノ懷クヘカラサルハ人々皆然リト雖モ特ニ教員タル者ハ身己ノ心上ニ於テ最モ謹テ之ヲ除去セザルヘカラズ蓋シ幼童ノ智德ヲ養成シ身體ヲ發育スルノ重任ニ膺リ以テ世ノ福祉ヲ増進スルノ實效ヲ奏スルハ固ヨリ鄙吝陋劣ニシテ儉安貧利ヲ事トスル徒ノ敢テ能クスヘキ所ニアラサレハナリ

一 學校管理上ニ缺クヘカラサル快活ノ氣象ハ心神萎靡セル人ノ能ク具有スヘキ所ニアラス又生徒教授上ニ缺クヘカラサル許多ノ勞力ハ身體孱弱ナル者ノ能ク率耐スヘキ所ニアラス是故ニ教員タル者ハ宜ク特ニ起居飲食等ノ常度ヲ守リ散鬱及運動等ノ良規ニ循テ其身志ノ健康ヲ保全シ以テ其職務ヲ盡スノ地ヲ做サンコトヲ務ムヘシ

一 教員タル者ハ唯小學校教則中ニ掲クル所ノ學科ニ通スルノミヲ以テ足レリトセス博ク教則外ノ學科ニ涉ランコトヲ要ス苟モ此ノ如クナラザレハ即チ教授上ニ破綻ヲ生シテ生徒ノ信憑ヲ失ヒ遂ニ其身ヲ學校ノ上ニ置ク能ハサルニ至ルヤ必セリ



- 一 教員タル者ハ常ニ整然タル秩序ニ由リ學識ヲ廣メ以テ其心志ヲ練磨センコトヲ務ムヘシ否ラサレハ決シテ教授ノ實効ヲ奏スル根柢ヲ立ツル能ハス蓋シ我カ練磨セサルノ心志ヲ以テ能ク他人ノ心志ヲ練磨シ得ルモノハ未タ曾テ之アラサルナリ
- 一 師範學校等ニ於テ嘗テ學習セシ所ノ教育法ハ概ネ其一樣子タルニ過キサルモノナリ故ニ教員タル者ハ徒ニ之ヲ踏襲スルヲ以テ足レリトセス宜ク常ニ自ラ其得失利病ヲ考究取捨シ以テ之ヲ活用センコトヲ務ムヘシ
- 一 人ノ心神及身體ノ組織作用ニ至テハ教員タル者最モ深ク意ヲ留メ講究ト經驗トニ由テ其原理實際ニ精通センコトヲ要スヘシ否ラサレハ假令孜孜汲々トシテ教育ニ從事スルモ遂ニ臆度妄作ノ弊ヲ免ルルコト能ハサルナリ
- 一 學校管理ノ事ハ之ヲ教授ノ事業ニ比スレハ更ニ困難ナリトス故ニ教員タルモノハ常ニ人情世態ヲ審ニシ通義公道ヲ辨シ且事ヲ處スルノ方法務ヲ理スルノ順序等ヲ暗練セサルヘカラス
- 一 校則ハ校内ノ秩序ヲ整肅ナラシムルニ止ラス兼テ生徒ノ德誼ヲ勸誘スルノ要具タリ故ニ教員タル者ハ能ク此旨趣ヲ體認シ以テ之ヲ執行セサルヘカラス
- 一 熟練懇切踴勉ノ三者ハ亦發育上ニ缺クベカラサルノ美事タリ故ニ教員タル者能ク此

- 一 三者ヲ具備シテ其事ニ從フトキハ獨リ教授ノ實効ヲ奏スルヲ得ヘキノミナラス又生徒ヲシテ不知不識此等ノ美事ニ感化シ習慣自然ノ如クナラシムルニ至ルヘシ
- 一 學校ヲ統率スルハ殊ニ剛毅、忍耐、威重、懇誠、勉勵等ノ諸德ニ由ルヘシ蓋シ剛毅ニアラサレハ難ニ勝ル能ハス忍耐ニアラサレハ久ヲ持スル能ハス威重ニアラサレハ人ヲ服スル能ハス懇誠ニアラサレハ衆ヲ懷ル能ハス勉勵ニアラサレハ事ヲ成ス能ハズ生徒若シ黨派ヲ生シ爭論ヲ發スル等ノ事アラハ之ヲ處置スル極メテ穩當詳密ニシテ偏頗ノ弊ナク苛刻ノ失ナカラント要ス故ニ教員タル者ハ常ニ寬厚ノ量ヲ養ヒ中正ノ見ヲ持シ就中政治及宗教上ニ涉リ執拗矯激ノ言論ヲナス等ノコトアルヘカラス
- 一 人トシテ善良ノ性行ヲ有スヘキハ言ヲ俟タスト雖モ教員タル者ニ至テハ最モ善良ノ性行ヲ有セサルヘカラス否ラサルトキハ獨リ幼童ノ德性ヲ涵養シ善行ヲ誘掖スルコト能ハサルノミナラス却テ天賦ヲ戕賊スルニ至ルヘシ蓋シ幼童ノ中心タル至虛至冲ニシテ外物ノ爲ニ感染セラルルコト極メテ鋭敏ナレハナリ
- 一 教員タル者ノ品行ヲ尙ケシ學識ヲ廣メ經驗ヲ積ムヘキハ亦其職業ニ對シテ盡スヘキノ務ト謂フヘシ盡シ品行ヲ尙クスルハ其職業ノ品位ヲ貴クスル所以ニシテ學識ヲ廣メ經驗ヲ積ムハ其職業ノ光澤ヲ増ス所以ナリ



○服忌令

明治七年十月十七日  
太政官布告第百八號

服忌ノ儀追テ被仰出ノ品モ可有之候得共差向京家ノ制武家ノ制兩様ニ相成居候テハ法律上  
不都合有之ニ付自今京家ノ制被廢候條此旨布告候事

(參考)

明治七年十一月十八日(京都府伺)

服忌令ノ儀ハ追テ被仰出ノ品モ可有之云々本年第百八號ヲ以テ御布告相成右武家制服忌令  
ノ儀ハ元祿年中改正元文中増補ノ別冊相用ヒ可然哉爲念伺

(別冊)

服忌令

一 父母 忌五十日 服十三月(閏月ヲカソヘス)

一 養父母 忌三十日 服百五十日

遺跡相續(或ハ分地配當)ノ養子ハ實父母ノ如シ同姓ニテモ異姓ニテモ養方ノ親類實ノ如  
ク相互ニ服忌可受之實方ノ親類ハ父母ハ定式ノ服忌可受之祖父母伯叔父姑ハ半減ノ服忌  
可受之兄弟姉妹ハ相互ニ半減ノ服忌可受之此外ノ親類ハ服忌無之遺跡相續セヌ

服忌令

一五七



(或ハ分地配當)セサル養子ハ同姓ニテモ異姓ニテモ養父母ハ定式ノ通忌服可受之養方ノ兄弟姉妹ハ相互ニ半減ノ服忌可受之此外ノ親類服忌無之實方ノ親類ハ定式ノ通相互ニ服忌可受之

一嫡母 忌十日 服三十日

對面無之候ハ、不可受服忌通路致候ハ、對面無之共服忌可受之父死去ノ後他へ嫁シ或ハ父離別スルニ於テハ(妾ノ子)不可受服忌 但シ嫡母ノ親類ハ服忌無之

一繼父母 忌十日 服三十日

初メヨリ同居セサレハ無服忌

父死去ノ後繼母他へ嫁シ或ハ父離別スルニ於テハ不可受服忌但シ繼父母ノ親類ニハ服忌無之

一離別之母 忌五十日 服十三月(閏月ヲカソヘス)

一夫 忌三十日 服十三月(閏月ヲカソヘス)

一妻 忌二十日 服九十日

一嫡子 忌二十日 服九十日

家督ト定メザル時ハ末子ノ服忌可受之女子ハ最初ニ生レテモ末子ニ准ス

一末子 忌十日 服三十日

養子ニ遣シ候テモ服忌差別ナシ家督ト定ムル時ハ嫡子ノ服忌可受之

一養子 忌十日 服三十日

家督ト定ムル時ハ嫡子ノ服忌可受之

一夫之父母 忌三十日 服百五十日

一祖父母 忌三十日 服百五十日

母方 忌二十日 服九十日

離別セラレ候祖母モ服忌無別儀

一曾祖父母 忌二十日 服九十日

母方ニハ服忌無之但シ遠慮一日

一高祖父母 忌十日 服三十日

母方ニハ服忌無之 但シ遠慮一日

一伯叔父母 忌二十日 服九十日

母方 忌十日 服三十日

父母種替リノ兄弟姉妹ハ半減ノ服忌可受之



- 一 兄弟姉妹 忌二十日 服九十日
- 別腹タリトイフトモ服忌ニ無差別
- 一 異父兄弟姉妹 忌十日 服三十日
- 一 嫡孫 忌十日 服三十日
- 嫡孫承祖タル時ハ嫡子ノ服忌可受之祖父母死去ノ時モ嫡孫ノ方ヘモ五十日十三月ノ服忌可受之此外ノ親類服忌差別ナシ曾孫玄孫タリトイフモ同例也
- 一 末孫 忌三日 服七日
- 女子ハ最初ニ生レテモ末孫ニ准ス娘方ノ孫服忌同前
- 一 曾孫玄孫 忌三日 服七日
- 娘方ニハ曾孫玄孫共ニ服忌無之
- 一 從兄弟姉妹 忌三日 服七日
- 父ノ姉妹ノ子並母方モ服忌同前
- 一 甥姪 忌三日 服七日
- 姉妹ノ子モ服忌同前
- 異父兄弟姉妹ノ子ハ半減ノ服忌可受之

一七歳未満ノ小兒ハ無服忌

父母ハ三日遠慮其外ノ親類ハ同姓ニテモ異姓ニテモ一日遠慮日數過承候ハ、追テ不及遠慮 但シ八歳ヨリ定式ノ服忌可受之

附七歳未満ノ小兒ノ方ヘモ服忌無之父母死去ノ時ハ五十日遠慮其外人親類ハ一日遠慮 父母ハ年月ヲ經テ承候共聞付ル日ヨリ五十日遠慮スヘシ

一 聞忌之事

遠國ニオキテ死去年月ヲ經テ告來ルトイフトモ父母ハ聞付ル日ヨリ忌五十日服十三月外ノ親類ハ聞付ル日ヨリ服忌殘ル日數可受之忌ノ日數過テ告來ラハ一日遠慮服明候トモ同前

一 重ル服忌之事

父ノ服忌イマタ不明内母ノ服忌有之ハ母ノ死去ノ日ヨリ五十日十三月ノ服忌可受之オモキ服忌ノ内カロキ服忌アリテ日數終ラハ追テ不及受服忌日數アマラハ殘ル服忌ノ日數可受之

(穢 之 事)

一 (産穢) (夫七日) (婦三十五日)



(遠國ヨリ告來七日過キ候ハ、穢無之七日之内承リ候ハ、殘ル日數ノ穢タル可シ血荒流産同斷尤モ妾ノ産穢ノ時モ同例)

一(血荒) (夫七日) (婦十日)

一(流産) (夫五日) (婦十日)

(體形有之ハ可爲流産形體無之ハ可爲血荒)

一(死穢) (一日)

(家ノ内ニテ人死候時一間ニ居合候ハ、死穢可受之敷居ヲ隔候ハ穢無之一間ニ居合候トモ不存候ハ穢無之二階ニテモ揚リ口敷居リノ外ニ有之候ハ穢無之候家ナキ所ニ死人有之時ハ其骸有之地計リ穢候家主死去候テモ死穢ノ儀差別無之死後其所へ參リ候者ハ骸有之候共踏合ノ穢也)

一(踏合) (但水次第)

一(改葬) (遠慮一日)

(子ハ不殘遠慮 但シ不承候ハ、追テ不及遠慮候忌掛リ候親類改葬ノ場へ出候者ハ遠慮スヘシ忌不掛親類ハ其場へ出候共不及遠慮候改葬ノ主ニナリ候ハ、他人ニテモ一日遠慮スヘシ)

(附堀起シ候日ヨリ葬候迄日數有之候ハ、子ハ不殘堀オコシ候日ト葬候日ト二日ノ遠慮ナリ他人ニテモ改葬ノ主ニナリ候者ハ同斷 但シ堀起シ候翌日ヨリ葬リ候前日マテハ幾日ニテハ不及遠慮候)

(改葬ノ儀遠所ニテ申付日限存候ハ、其日遠慮スヘシ日限不存相濟候後承候ハ、追テ不及遠慮候)

元祿六年十二月二十一日

追 加

一養父死去以後養母同居セストイフモ他へ不嫁候ハ服忌可受之他へ嫁スルニ於テハ服忌無之

一養父ノ妻養ハレサル以前ニ死去候ハ、嫡母ニ准シ其親類服忌無之

一父ノ後妻ト通路イタシ候ハ、對面無之トモ繼母ノ服忌可受之

一義絶ノ嫡子ノ服忌ハ末子ニ可准之此外ノ親類義絶トイフトモ服忌別儀ナシ

一女子婚儀以前ヨリ養ハレ或ハ入聲ヲ取家督相續ノ時ハ養方ノ親類實ノ如ク相互ニ服忌可受之

一婚儀イマタ相調ハサル内ニテモ祝儀取カハシ候ハ夫婦相互ニ定式ノ忌ノ日數可遠慮但



シ服無之

- 一 (父ノ妾服忌無之)
- 一 (妾ハ服忌無之 但シ子出生ニオイテハ三日遠慮血荒流産有之計リニテハ妾死去ノ時遠慮無之)
- 一 遺跡相續セス(或ハ分地配當セサル)養子養方ノ兄弟姉妹他家へ養ハル、者ニハ相互ニ服忌無之
- 一 同姓ニテモ異種ニテモ一人へ兩様ノ續有之ハ重キ方ノ服忌可受之
- 一 名字ヲ授候計ニテハ相互ニ服忌無之本姓ノ方ノ親類定式ノ通服忌可受之
- 一 離別ノ女ハタトヒ實子有之他へ不嫁候トモ夫婦ノ縁キレ候故相互ニ服忌無之
- 一 子無之死去候者名跡相續ノタメ新規ニ家督相續ノ時ハ養父ノ如ク服忌可受之死去候者ノ妻ハ養母ニ可准之死去候者七歳未滿ニ候ハ、服忌無之五十日可遠慮死去候者ノ親類ハ相互ニ定式ノ服忌可受之實方ノ親類ハ父母ハ定式ノ服忌可受之祖父母伯叔父姑ハ半減ノ服忌可受之兄弟姉妹ハ相互ニ半減ノ服忌可受之此外ノ親類服忌無之
- 一 養子順書差出之(老中)請取之其以後死去候ハ、家督不定内ニテモ養父母計リ五十日十三ヶ月ノ服忌可受之

半減ノ日數三十日ハ十五日ナリ餘ハ准之

但シ七日ハ四日也三日ハ二日也

一一日ト有之ハ當夜ノ(九ツ時)ヨリ明ル夜ノ(九ツ時)マテ也

(九ツ)前ニ候ヘハタトヒ(四ツ半)過ニテモ一日ノ積也

右十六箇條元祿六年追加ノ内也

今般聊省略面書載之

- 一 (妾腹ノ子)其父嫡母繼母ヲ以テ養母ニ定ムル時ハ忌五十日服十三月可受之母方ノ親類ノ服忌養實ノ差別家督相續ノ養子ノ如クタル可シ嫡母ノ子繼母ノ服忌ニ於テモ父ノ極メ次第右ニ同シ 但シ繼母方ノ親類ニハ服忌無之
- 一 家督相續ノ養子タル者實名ノ養母嫡母繼母服忌無之(分地配當セサル)養子ハ右ノ服忌可受之
- 一 養方ノ伯叔姑兄弟姉妹人ニ養ハル、者ハ半減ノ服忌可受之實方へ伯叔父姑兄弟姉妹他家ヨリ養ハル、者モ服忌無差別
- 一 其身養子ニ參リ實方ノ伯叔父姑兄弟姉妹ノ内人ニ養ハル、トイフトモ具備半減ノ服忌タル可シ



一 父養子ニテ其子人ノ養子ニ參リ候時ハ父ノ父母兄弟姉妹養子トモニ半減ノ服忌可受之或ハ父モ養子其身モ養子ノ時ハ養父ノ實方服忌無之若シ實方ニ付テ半減ノ服忌可受續有之ハ服忌可受之

一 半減ノ服忌ニ祖父母伯叔父姑兄弟姉妹ト有之ハ母方ノ祖父母伯叔父姑異兄弟姉妹父モ同例

一 嫡子ヲ人ノ養子ニ遣ハス時ハ服忌末子ノ如クタル可シ  
右七箇條更増補之

元文元年九月十五日

(太政官指令)明治八年一月七日

伺之通

但産穢及ヒ混穢不及憚儀ハ明治五年第五十六號同六年第六十一號布告之通可相心得事

### ○中等學校入學準備教育取締方

鹿兒島縣訓令甲第三號  
大正十二年一月廿五日

近時中等學校入學試験ノ競争激烈トナリ爲メニ小學校ハ入學準備教育ヲ行フニ至リ國民教

育上種々ノ弊害アルヲ認ム依テ極力之カ矯正ニ努メ左記三項ノ貫徹ヲ期スヘシ

- 一 特別ノ事情アル場合ト雖正規教授時間以外一時間以上兒童ヲシテ學校ニ於テ學習セシムヘカラス
- 二 中等學校入學準備教育ノ爲メ各教科正規教授時數ヲ變更スヘカラス
- 三 明治廿八年五月十五日日本縣訓令第五十七號小學校教員私宅ニ於テ教授時間外ニ其生徒ヲ教授スルモノ取締方ノ件ハ一層之カ徹底ヲ期スヘシ



一、...

二、...

三、...

四、...

五、...

六、...

七、...

八、...

九、...

十、...

○中等學校入學準備教育取締方

○小學校教員私宅ニ於テ教授時間外ニ其生

徒ヲ教授スルモノ取締方ノ件

明治廿八年五月十五日  
鹿兒島縣訓令第五十七號

小學校教員私宅ニ於テ教授時間外ニ其生徒ヲ教授スルトキハ生徒心身ノ發達ヲ妨害シ徒ラニ教授ノ標準ヲ高メ生徒管理上偏愛ノ嫌疑ヲ受クルニ至リ且教授ノ準備ヲ妨クル等教育上弊害尠カラズ候條右様ノ儀有之ニ於テハ厚ク注意ヲ加ヘ不都合無之様取締ルヘシ



### ◆公立學校職員俸給令

勅令第六十六號  
明治三十六年三月二十八日

沿革 明治三十七年二月勅令第五十三號、四十二年二月同第三三三號、大正三年一月第二〇五號六年一月同第八號  
八年三月同第二七號同年八月同第三七九號九年八月同第三二六號一〇年二月同第一六號同年四月同第八八號  
同年七月同第三一九號改正

朕公立學校職員俸給令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 公立學校職員俸給令

第一條 本令ニ於テ職員ト稱スルハ公立ノ專門學校、大學豫科、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校及實業學校盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勅任官、奏任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ヲ謂フ

第二條 勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル專門學校、實業專門學校、大學豫科及高等學校ノ職員ノ年俸ハ第一號表ニ依ル

第二條ノ二 高等科ヲ置ク高等女學校ノ學校長、教授及奏任官ノ待遇ヲ受クル教諭ノ年俸ハ第二號表ニ依ル

第三條 奏任官ノ待遇ヲ受クル高等學校尋常科、高等學校豫科、師範學校、中學校、高等



女學校(高等科ヲ置ク高)及實業學校、(實業專門學)

第四條 判任官ノ待遇ヲ受クル職員ノ月俸ハ第四號表ニ依ル

第五條 官吏ニシテ在官ノ儘職員ニ任セラレタル者ノ俸給ハ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得

第六條 一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ特ニ功勞アル職員ニハ勅任官又ハ委任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ七百圓以内ノ判任官ノ待遇ヲ受ケル者ニ在リテハ四百五十圓以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得

第七條

第八條 教員ニシテ舍監、主事ヲ兼スル者ニハ相當ノ加俸ヲ給スルコトヲ得

第九條 教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應シ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得

第十條 二校以上ノ職員ヲ兼スル者ニハ其ノ俸給ヲ分割シテ關係學校ノ經費中ヨリ之ヲ支給スルコトヲ得

第十一條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル職員ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ俸給額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得

第十二條 俸給ハ每級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得但シ委任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ年俸千二百圓以下ノ者及判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ日俸八十圓以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若ハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ轉任スル場合ニ於テ支給スル俸給ハ前職ノ俸給額ニ相當スル俸給以下トス若シ相當額ナキトキハ其ノ最モ近キ上給ノ俸給以下トス但シ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ニ在リテハ一級ヲ進ムルコトヲ得

第十四條 前項ノ規定ハ年俸千二百圓以下又ハ月俸八十圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス

第十五條 退職後一年以内ニ再任セララルル場合ニ於テハ其ノ俸給ハ前職ノ俸給以下トス

第十六條 前項ノ場合ニ於テ其ノ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ハ前職ノ等級ニ一級ヲ進ムルコトヲ得

第十七條 退職後一年以内ニ名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若ハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ任セララルル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ準用ス

第十八條 前三條ノ俸給額ニハ加俸ヲ算入セス

公立學校職員俸給令



第十五條 休職者ニハ其ノ休職中俸給三分ノ一ヲ給ス但シ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スル場合ニ於テ休職ヲ命セラレタル者ニ付テハ之ヲ給セス又ハ三分ノ一以下ヲ給スルコトヲ得

第十五條ノ二 師範學校訓導ニシテ徵兵令第十四條ノ規定ニ依ル一年現役ニ服スル者ハ其ノ服役中俸給ノ十分ノ二ヲ減ス

第十六條 特別ノ事情ニ依リ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ地方長官ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第十七條 高等官官等俸給令第二十三條乃至第二十九條ノ規定ハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル職員ニ關シ判任官俸給令第十三條乃至第十四條ノ規定ハ判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニ關シ之ヲ準用ス

第十八條 俸給、旅費其ノ他諸給與ニ關スル規程ハ地方長官之ヲ定ム

附 則

第十九條 本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第二十條 本令施行ノ際別ニ辭令ヲ受ケサル者ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル等級俸ヲ受ク現ニ本令ニ規定スル俸給額ニ相當セサル俸給ヲ受クル者ハ當分ノ内現在ノ儘支給スルコ

トヲ得但シ其ノ者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸給ニ最モ近キ上級ノ俸給ヲ受クルモノト看做ス

○大正六年一月勅令第八號附則

本令ハ大正六年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

公立學校職員制附則第三項ノ規定ニ依リ任セラレタル者本令施行ノ際別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ現ニ受クル級俸々給額ヲ受クルモノトス

○大正八年三月勅令第二十七號附則

本令ハ交付ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ師範學校又ハ實業學校ノ訓導ノ職ニ在ル者別ニ辭令書ヲ交付セラレサルトキハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル級俸ヲ受クルモノトス但シ現ニ受クル俸給額ニス當スル級俸ナキトキハ従前ノ俸給ヲ受クルモノトス

本令施行ノ際現ニ師範學校又ハ實業學校ノ訓導ニシテ公立學校職員俸給令第六條ノ加俸ヲ受クル者ニ付テハ現ニ受クル俸給ト加俸トノ合算額ヲ以テ前項ノ俸給額ト看做シ前項ノ規定ヲ準用ス

○大正九年八月勅令第三百二十六號附則



本令ハ大正九年八月ヨリ之ヲ適用ス  
 従前ノ規定ニ依テ俸給ヲ受クル者ハ現ニ受クル本俸及臨時手當ノ合計額ニ相當スル級俸ヲ受クルモノトス但シ相當級俸ナキトキハ其ノ金額ノ俸給ヲ受クルモノトス  
 大正九年七月三十一日現在ニ於テ休職中ノ者ニ付テハ其ノ在職最終ノ本俸ニ付前項ノ規定ヲ準用ス

従前ノ規定ニ依リ一級俸ヲ受ケタル在職年數ハ之ヲ本令ニ依ル一級俸ヲ受ケタル在職年數ト看做ス但シ従前ノ規定ニ依ル一級俸ニ付第二項ノ規定ニ依リ算出シタル金額カ本令ニ依ル改正俸給ノ二級俸以下ナルトキハ此ノ限ニ在ラス  
 従前ノ規定ニ依リ加俸ヲ受クル者ハ其ノ本令トシテ本俸ニ依ル一級俸ヲ受ケ其ノ加俸トシテ従前ノ本俸及加俸ノ合計額ニ付第二項ノ規定ニ依リ算出シタル金額ヨリ本令ニ依ル一級俸ノ金額ヲ控除シタルモノヲ受ケ但シ従前ノ本俸及加俸ノ合計額ニ付第二項ノ規定ニ依リ算出シタル金額カ本令ニ依ル一級俸以下ナルトキハ本俸トシテ其ノ金額ニ相當スル級俸ヲ受ケ相當級俸ナキトキハ其ノ金額ノ俸給ヲ受ク  
 第二項、但書及前項但書ノ規定ニ該當スル者ノ取扱ニ關シテハ其ノ俸級ニ最近キ上級ノ俸給ヲ受ケルモノトス

第二項、第三項及第五項ノ規定ニ依ル金額單位未滿ハ之ヲ單位ニ滿タシム

○大正十年二月勅令第十六號附則

本令ハ大正十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ公立實業補習學校訓導タル者ニシテ辭令書ヲ用キス當該學校ノ助教諭ニ任セラレタルモノハ従前ノ俸給額ニ相當スル級俸ヲ受クルモノトス但シ相當級俸ナキトキハ従前ノ俸給額ヲ受クルモノトス

○大正十年七月勅令第三百十九號附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ高等科ヲ置ク高等女學校ノ學校長ニシテ別ニ辭令書ヲ交付セラレタル者ハ現ニ受クル俸給額ニ相當スル級俸ヲ、相當級俸ナキトキハ現ニ受クル金額ノ俸給ヲ受クルモノトス

第一號表

學校長	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
	四、五〇〇	四、一〇〇	三、八〇〇	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇			



第二號表

教授	三、八〇〇	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇
學校長	四、一〇〇	三、八〇〇	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、五〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇
教授	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇
教諭	三、一〇〇	二、八〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級

第三號表

學校長	三、八〇〇	三、四〇〇	三、一〇〇	二、八〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇
教諭	三、一〇〇	二、八〇〇	二、六〇〇	二、四〇〇	二、二〇〇	二、〇〇〇	一、八〇〇	一、六〇〇	一、四〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級	

第四號表

專門學校	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級	十三級
實業專門學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
大學	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
高等學科	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
高等女子學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
實科高等女學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
女子實業學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
實業補習學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
高等師範學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
中等學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
高等女學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
實業專門學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		
實業專門學校	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一二〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六〇	五〇		



專 門 學 校 舍 監	實 業 專 門 學 校	高 等 學 校 書 記	師 範 學 校 訓 導	高 等 學 校	中 等 學 校 助 教 諭	師 範 學 校 舍 監	中 等 學 校 保 姆	高 等 女 學 校 書 記	實 業 專 門 學 校 除 校 書 記
一六〇	一四〇	一四〇	一四〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
一四〇	一三〇	一三〇	一三〇	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇	一二〇
一三〇	一二〇	一二〇	一二〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇	一一〇
一二〇	一一〇	一一〇	一一〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
一一〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
一〇〇	九〇	九〇	九〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
九〇	八〇	八〇	八〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
八〇	七〇	七〇	七〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
七〇	六〇	六〇	六〇	五五	五五	五五	五五	五五	五五
六〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
五〇	四〇	四〇	四〇	四五	四五	四五	四五	四五	四五
四〇	三〇	三〇	三〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
三〇	二〇	二〇	二〇	三五	三五	三五	三五	三五	三五
二〇	一〇	一〇	一〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇

○教育資金使用ニ關スル規程

大正四年八月二十日  
鹿兒島縣令第二十九號

教育資金使用ニ關スル規則左ノ通改正シ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

教育資金使用ニ關スル規程

第一章 總 則

第一條 教育資金ハ公立小學校設備費ノ貸付、公立小學校教員ノ疾病療治料、公立小學校ノ獎勵普通教育及社會教育ノ普及改善ニ關スル費用トシテ使用ス

第二條 小學校教員ノ獎勵、普通教育及社會教育ノ普及改善ニ使用スル金額ハ前年度配付金及教育資金ヨリ出シタル前々年度利子額ノ十分ノ八以内トス

第二章 小學校設備費ノ貸付

第三條 教育基金令第六條ニ依リ小學校設備費ヲ貸付スルノ順序ハ校地校舎ノ設備最モ不完全ニシテ校地ノ買收校舎ノ建築等急施ヲ要スト認メタルセノヲ先ニス但シ非常變災ニ罹リ復舊ヲ要スルモノハ此限ニ在ラス

第四條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニハ設備費ヲ貸付セス

- 一 市町村又ハ之ニ準スヘキ公共團體ノ資力設備ニ關スル費用ノ支出ニ堪フルト認メタ

教育資金使用ニ關スル規程



ルトキ

二 小學校ニ關スル教育經常費ノ支出額市町村經常費ノ支出總額ニ對シ十分ノ四以内ナルトキ

第五條 尋常高等小學校ノ設備費ニ對シテハ其ノ費用ノ十分ノ八ヲ以テ尋常小學校ノ設備費ト看做シ貸付額ヲ定ム

第六條 區ノ負擔ニ屬スル設備費ノ貸付ニ就テハ其ノ市町村ニ於テ設備スルモノト看做シ市町村ニ準スヘキ公共團體モ亦一市町村ト看做ス

第七條 貸付金額ハ五拾圓ヲ以テ單位トス

第八條 貸付金ノ償還期限ハ貸付ノ年度ヨリ五箇年以内トス但シ特別ノ事情アルトキハ相當期間延長スルコトアルヘシ

第九條 貸付金ノ利子ハ貸付ノ翌月ヨリ返納ノ月迄トス

第十條 貸付金ノ利子ハ一個年度ヲ二期ニ分テ第一期ヲ九月末日迄トシ第二期ヲ三月末日迄トス但シ毎期末ニ其月迄ノ分ヲ納付セシム

第十一條 設備費貸付ノ申請ハ毎年三月末日限り翌年度ニ就キ之ヲナスヘシ但シ復舊工事にシテ急施ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 設備費ノ貸付ヲ受ケムトスルトキハ市町村又ハ之ニ準スヘキ公共團體ハ左ノ各號ヲ具シ申請スヘシ

- 一 借入金額
- 二 元利償還年次表第一號様式
- 三 借入ニ關スル公共團體ノ決議
- 四 校地、校舍ノ平面圖
- 五 工事設計豫算 第二號様式又ハ校地買收豫定價格
- 六 當該年度歳入歳出豫算
- 七 當該年度諸稅負擔表 第三號様式
- 八 市町村及學校基本財産表 第四號様式
- 九、市町村負債ノ有無竝ニ其ノ額

第十三條 (削除)

### 第三章 小學校教員ノ疾病療治料

第十四條 教育基金令第五條第二號ノ公立小學校教員ニシテ兒童ノ衛生上特ニ考慮ヲ要スル疾病ニ罹リ休職又ハ退職ヲ命シタルトキハ勤績年數其ノ他ノ事情ヲ斟酌シ左ノ各號ニ



依リ疾病療治料ヲ給與ス但シ休職期間中退職ヲ命シタル者ハ此ノ限ニ在ラス

- 一 正教員休職ノトキハ五圓以上貳百五十圓以下
- 二 正教員退職ノトキハ貳百圓以上四百圓以下
- 三 准教員休職ノトキハ五拾圓以上百五十圓以下
- 四 准教員退職ノトキハ百圓以上貳百五十圓以下
- 五 代用教員退職ノトキハ百圓以下

第十五條 公立小學校教員ニシテ兒童ノ衛生上考慮ヲ要スヘキ疾病ニ罹リ休職又ハ退職ヲ命スヘキ必要アリト認めタルトキハ校醫又ハ其ノ他ノ醫師ノ診斷書(第五號様式)並ニ既往六箇月間ノ勤怠表及勤務狀態ニ關スル調書ヲ添付シ市ニ在リテハ市長大島熊毛郡ニ在リテハ支廳長其他ニ在リテハ學校長ニ於テ知事ニ具申スヘシ

第十六條 前條ノ規定ニ依リ具申アリタルトキハ學校衛生技師又ハ其ノ他ノ醫師ヲ特派シ若クハ地方開業ニ囑托シ該教員ノ身體検査ヲナサシメ意見ヲ徵スルコトアルヘシ

#### 第四章 普通教育及社會教育ノ獎勵

第十七條 公立小學校教員ニシテ拾箇年以上縣内公立小學校又ハ五箇年以上同一學校ニ勤績シ其ノ成績佳良ニシテ左ノ各號若クハ其ノ一ニ該當スルモノアルトキハ賞金又ハ賞品

ヲ授與シ或ハ之ヲ表彰シ又ハ手當ヲ給與スルコトアルヘシ但シ成績拔群ナル者又ハ特種ノ事由アル者ニ在リテハ本文ノ年限ニ依ラサルコトヲ得

- 一 操行善良ニシテ德望アル者
  - 二 學術優秀ニシテ教授訓育ニ練熟スル者
  - 三 平素ノ勤勉衆ニ超ユル者
  - 四 其ノ他教員トシテ他ノ模範タルヘキ特殊ノ事實アル者
- 第十八條 公立小學校教員ニシテ特殊ノ地域ニ在職シ又ハ特別ノ勤務ニ從事スルトキハ相當手當ヲ給與スルコトアルヘシ

第十九條 市町村學事關係ノ吏員又ハ委員ニシテ左ノ各號若クハ其ノ一ニ該當スルモノアルトキハ賞金又ハ賞品ヲ授與スルコトアルヘシ

- 一 擔任事務ノ整理宜シキヲ得他ノ模範タルヘキ者
  - 二 五箇年以上其職ニ從事シ功績顯著ナル者
- 第二十條 教育篤志者ニシテ左ノ各號又ハ其ノ一ニ該當スルモノアルトキハ賞金又ハ賞品ヲ授與スルコトアルヘシ

- 一 慈善ヲ目的トシ小學校又ハ之ニ類スル各種學校若クハ之ニ準スヘキモノヲ設立シ其



ノ成績佳良ナル者

二 小學校又ハ之ニ類スル各種學校若クハ之ニ準スヘキモノヲ設立シテ他ノ模範タルヘキ特殊ノ成績アル者

三 常ニ力ヲ普通教育又ハ社會教育ニ盡シ功績殊ニ顯著ナルモノ

第二十一條

公立小學校ニシテ兒童ノ出席並ニ就學ノ歩合殊ニ高ク左ノ各號又ハ其ノ一ニ該當スルモノアルトキハ賞金又ハ賞品ヲ授與シ或ハ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

一 諸般ノ設備優良ナルモノ

二 校風善良ニシテ教授管理訓練其ノ宜シキヲ得兒童學業ノ成績顯著ナルモノ

三 其ノ他小學校トシテ他ノ模範タルヘキ特殊ノ事實アルモノ

第二十二條

小學校ニ類スル各種學校又ハ之ニ準スヘキモノニシテ其ノ成績佳良ナルモノハ之ヲ表彰シ又ハ之ニ補助スルコトアルヘシ

第二十三條

普通教育及社會教育ノ普及改善ニ資スルノ爲メ左ノ事項ヲ施行シ又ハ之レヲ施行スル公共團體若ハ其ノ他ノ團體ニ補助スルコトアルヘシ

一、會合、講談會、講演會、幻燈會、活動寫真會其ノ他ノ會合

二、展覽 各種ノ展覽會

三、出版 教育資料ノ出版

四、調査 各種事項ノ調査

五、指導 講習又ハ指導

六、文庫 巡回文庫ノ廻付

七、其ノ他教育上必要ト認メタル事業

第一號樣式

償還年次表

何年度	何年度		償還期	元	金	利	子	計
	第一期	第二期						
第一期								
第二期								



